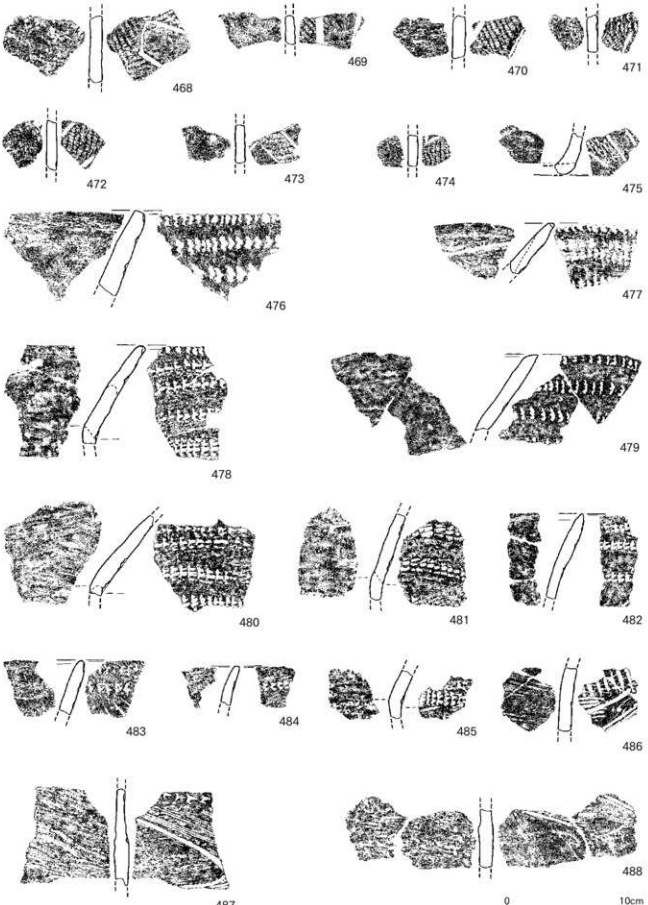
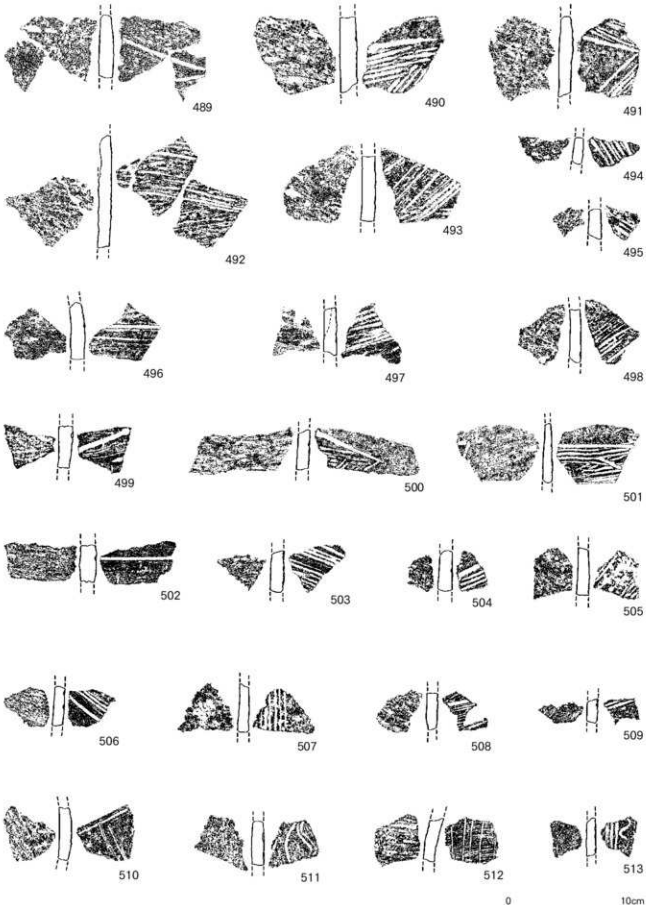
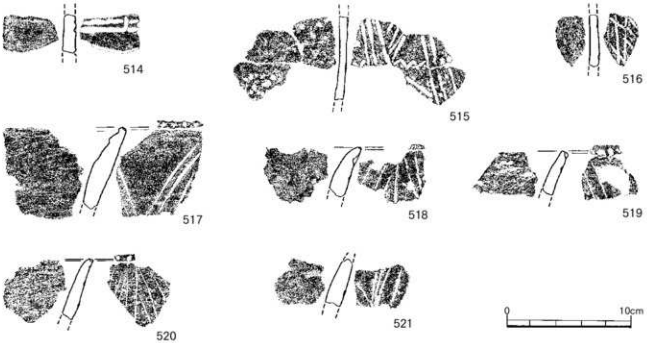


第64図　縄文時代早期遺物包含層出土土器実測図㉒　(S＝1/3)



第65図　縄文時代早期遺物包含層出土土器実測図㉒　(S＝1/3)



第66図　縄文時代早期遺物包含層出土土器実測図㉔　(S＝1/3)

4．貝殻条痕文土器（早期末）

522～557は貝殻条痕文を施した一群である。

522はほぼ完形に近い状態に復元することができた。内外面には貝殻条痕文を施し、器形は直径約7cmの平底の底部よりV字状に立ち上がり、器高は約47cmを測る。口縁は波状口縁で、内側に斜行するように仕上げられた口唇部外面には刻目が施されている。また、2ヶ所の貫通した穿孔が設けられている。

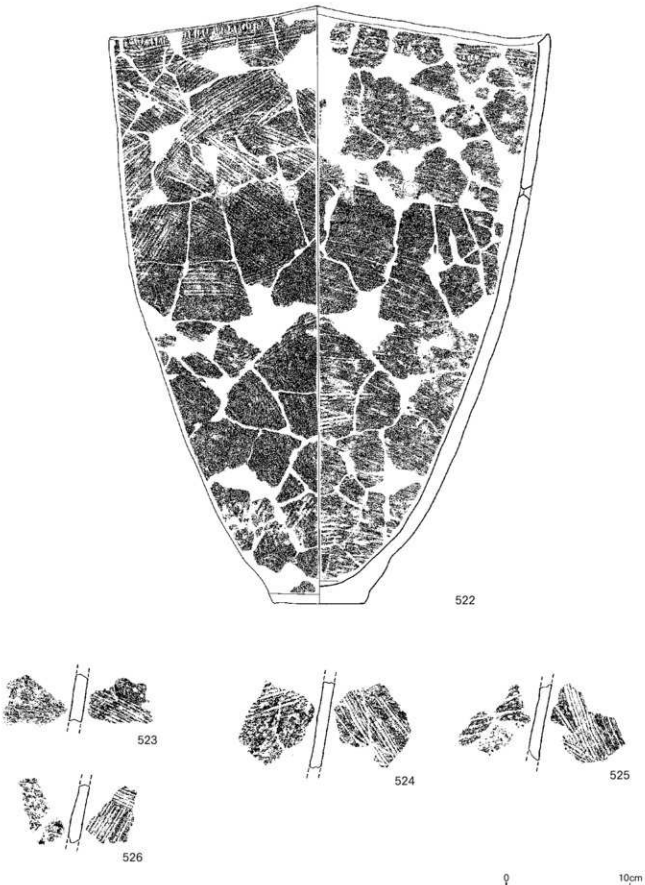
527・528・532～538は口縁部片である。口唇部については、直行するもの(527・528・536)、やや丸めに作られているもの(533・537・538)、そして内側に斜行するように作った後、頂部に平坦面を設けたもの(532・534・535)の3種がある。また、内面については、いずれも貝殻条痕文を施している(535は貝殻条痕文がみられないが、これは小破片であるため)。尚、528では、外面の貝殻条痕文から炭化物が採取され、その炭化物で放射性炭素年代測定分析を実施したところ《6390±30年BP》というデータを得ている。

523～526・529～531・539～557は胴部片である。外面の文様については、そのほとんどが縦位、横位、斜位と複数回施文しており(単純一方向でない場合有り)、内面にも貝殻条痕文を施している。

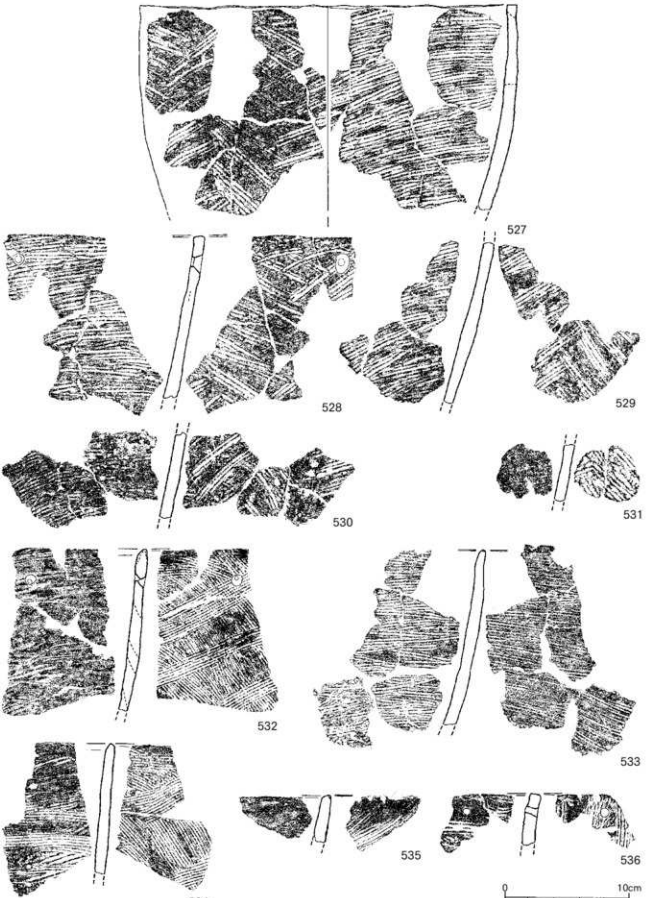
5．土製品

558～560は土製円盤で、いずれも土器片の転用品ではないかと考えられる。

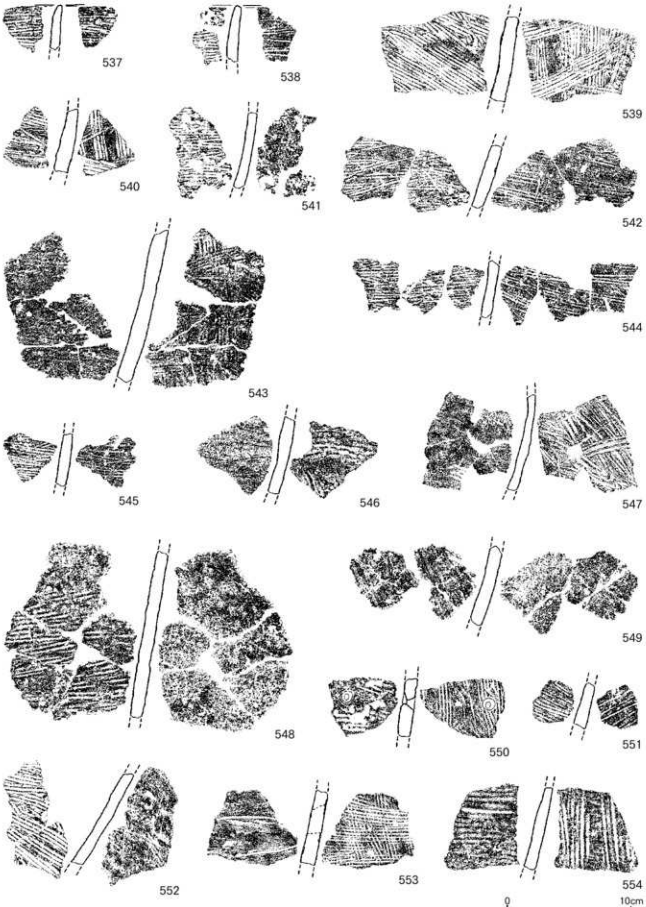
559は貝殻条痕文がわずかに残っており、胎土等からみて貝殻円筒形土器の転用品であろう(底部付近の胴部か)。また、558には中心部に未貫通の穿孔がみられる。



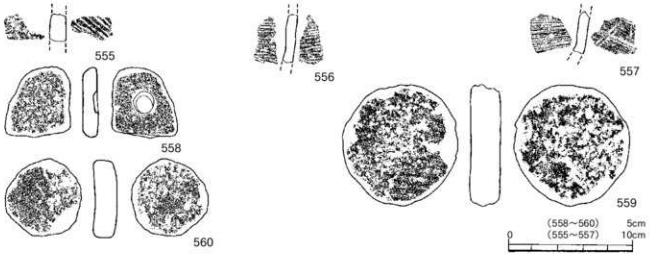
第67図　縄文時代早期遺物包含層出土土器実測図㉕　(S＝1/3)



第68図　縄文時代早期遺物包含層出土土器実測図㉖　（S＝1/3）



第69図　縄文時代早期遺物包含層出土土器実測図㉗　(S＝1/3)



第70図　縄文時代早期遺物包含層出土土器実測図㉘　(S＝1/3・2/3)

第８表　縄文時代早期遺物包含層出土土器観察表

報告番号	出土層位	部位	文様及び調整		色調		胎土					備考	実測番号
			外面	内面	外面	内面	黒	白	灰	褐	透明	他		
62	4	口縁部	貝殻押引文、貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	10YR4/2（灰黄褐）	7.5YR4/3（褐）		○	○	○	○		前平式	1
63	4	口縁部	貝殻押引文、貝殻条痕文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○		○	○		前平式	2
64	4	口縁～胴部	貝殻刺突文、貝殻条痕文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○				前平式　スス付着 口唇部に刻目	679
65	4	口縁～胴部	貝殻刺突文、貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○		○		前平式　スス付着 口唇部に刻目	680
66	4	口縁部	貝殻刺突文、貝殻条痕文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/4（にぶい黄橙）		○	○		○		前平式	678
67	3	口縁部	貝殻刺突文、貝殻条痕文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○			○		前平式	655
68	4	胴部	貝殻条痕文	ナデ	10YR6/2（灰黄褐）	2.5Y5/1（黄灰）	○	○			○		前平式	692
69	4	胴部	不明瞭（磨滅）	ナデ	7.5YR6/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）			○	○	○		前平式	700
70	4	胴部	貝殻条痕文	ナデ	10YR6/1（灰白）	5YR4/1（褐灰）		○	○		○		前平式	660
71	4	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○		前平式	638
72	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○		○	○		前平式	639
73	4	胴部	貝殻条痕文	不明瞭（磨滅）	7.5YR6/1（灰白）	N4/0（灰）	○	○	○			○	前平式	661
74	4	口縁部	貝殻条痕文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○	○	○	○		刻目隆式	675
75	4	口縁部	貝殻条痕文	ナデ	2.5Y5/1（黄灰）	5YR5/2（灰褐）		○	○				刻目隆式	676
76	4	胴部	貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR7/3（にぶい橙）	○				○		刻目隆式	643
77	4	口縁～胴部	貝殻刺突文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）		○	○		○		下剥縄式　口唇部ミガキ 撚糸痕	535
78	4	口縁部	貝殻刺突文（羽状）	ミガキ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR4/1（褐灰）	○	○			○		下剥縄式　口唇部ミガキ	525
79	4	口縁部	貝殻刺突文（羽状）	ナデ、ミガキ	5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○		○	下剥縄式	487
80	4	口縁部	貝殻刺突文	ミガキ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○	○		○	下剥縄式　口唇部ミガキ	541
81	4	口縁部	貝殻刺突文	不明瞭（剥離）	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）		○	○	○		○	下剥縄式	546
82	4	口縁部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○			下剥縄式　口唇部ミガキ	547
83	4	口縁部	貝殻刺突文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○	○		○	○	○	下剥縄式	5
84	4	口縁部	貝殻刺突文（羽状）	ミガキ	10YR7/1（灰白）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○	○		○	○	○	下剥縄式	518
85	4	口縁部	貝殻刺突文（羽状）	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）		○	○		○	○	下剥縄式	563
86	4	口縁部	貝殻刺突文（羽状）	ミガキ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○	○	下剥縄式	595
87	4	口縁部	貝殻刺突文（羽状）	不明瞭（剥離）	5YR4/2（灰褐）	5YR4/1（褐灰）			○	○	○		下剥縄式	580
88	4	口縁部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○		○			下剥縄式	548
89	4	口縁部	貝殻刺突文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○	○	○	○		下剥縄式	533
90	4	口縁部	貝殻刺突文	ミガキ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○	○	下剥縄式　口唇部ミガキ	488
91	3	口縁部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○		○	○	○	下剥縄式	544
92	4	口縁部	貝殻刺突文	ミガキ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○		○	下剥縄式　口唇部ミガキ	612
93	4	口縁部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○			○		下剥縄式	528
94	4	口縁部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	5YR4/1（褐灰）	○	○			○		下剥縄式　口唇部ミガキ	600
95	4	口縁部	貝殻刺突文	剥離	7.5YR7/1（明褐灰）	–	○	○		○			下剥縄式	529
96	4	口縁部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）		○	○		○		下剥縄式　棒状突起有り 指押さえ有り	611

97	4	口縁部	貝殺刺突文	不明瞭（剥離）	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/1（褐灰）		○	○	○			下胎縦式　櫛状突起有り 波状口縁	610
98	4	口縁部	貝殺刺突文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）		○	○	○		○	下胎縦式　櫛状突起有り	607
99	4	胴部	貝殺刺突文	剥離	5YR7/1（明褐灰）	–		○		○	○	○	下胎縦式　櫛状突起有り	577
100	4	口縁部	貝殺刺突文	ナデ	10YR5/1（褐灰）	10BG5/1（青灰）		○	○	○			下胎縦式　スス付着	4
101	3・4	口縁部	貝殺刺突文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○				下胎縦式　口唇部ミガキ 指押さえ有り	609
102	4	口縁部	貝殺刺突文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○	○		○		下胎縦式	553
103	4	口縁部	貝殺刺突文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○			○		下胎縦式	599
104	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）		○		○	○	○	下胎縦式	581
105	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○		○	下胎縦式	575
106	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR4/2（灰黄褐）		○		○	○	○	下胎縦式	6
107	3	胴部	貝殺刺突文 貝殺刺突文（羽状）	ミガキ	2.5Y4/1（黄灰）	10YR4/2（灰黄褐）	○	○			○		下胎縦式	8
108	4	胴部	貝殺刺突文 貝殺刺突文（羽状）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○		下胎縦式	572
109	4	胴部	貝殺刺突文 貝殺刺突文（羽状）	ナデ	2.5Y5/1（黄灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○		下胎縦式	585
110	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	5YR5/2（灰褐）		○	○		○	○	下胎縦式	582
111	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○		下胎縦式	573
112	3	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○			○	○	下胎縦式	565
113	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○		○	○	○	下胎縦式	583
114	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）		○		○	○	○	下胎縦式　櫛状突起有り	543
115	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR6/1（褐灰）	○	○		○	○	○	下胎縦式	551
116	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	10R4/1（暗赤灰）	○	○	○	○			下胎縦式	476
117	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○		下胎縦式	593
118	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○		○	○	○	下胎縦式	604
119	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○	○	下胎縦式	596
120	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	剥離	5YR7/1（明褐灰）	–	○	○			○	○	下胎縦式	530
121	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	2.5YR4/3（にぶい赤褐）	○	○		○	○	○	下胎縦式	574
122	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	5YR6/1（灰白）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○		○	下胎縦式	474
123	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR4/2（灰褐）	○			○	○		下胎縦式	571
124	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○		下胎縦式	570
125	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○	○			下胎縦式	557
126	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ミガキ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○			下胎縦式	475
127	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ミガキ	5YR8/1（灰白）	10YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	○	下胎縦式、底部付近か	554
128	3・4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	10YR7/1（灰白）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○	○	下胎縦式	531
129	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ミガキ	5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○	○		○	下胎縦式	576
130	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	5YR7/1（明褐灰）	10R4/1（暗赤灰）		○		○	○	○	下胎縦式	556
131	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○	○	○			下胎縦式	526
132	4	胴部	貝殺刺突文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	○	下胎縦式	552
133	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○			○	○	下胎縦式	542
134	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○			下胎縦式	516
135	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○		下胎縦式	598
136	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10R4/1（暗赤灰）		○		○	○		下胎縦式	550
137	3・4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	2.5YR7/2（明赤灰）	10YR5/1（褐灰）	○	○	○			○	下胎縦式	558
138	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○				下胎縦式	545
139	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○	○		下胎縦式 8880 ± 40 年 BP	3
140	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○		○		下胎縦式	597
141	3	胴部	貝殺刺突文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○		下胎縦式	569
142	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	5YR5/2（灰褐）	○	○	○				下胎縦式	555
143	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	5YR4/2（灰褐）		○	○	○		○	下胎縦式	615
144	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	5YR5/3（にぶい赤褐）	10YR4/1（褐灰）		○	○	○	○		下胎縦式	614
145	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	7.5YR4/2（灰褐）	10YR4/1（褐灰）		○	○	○		○	下胎縦式	617
146	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○		○	下胎縦式	616
147	4	胴部	貝殺刺突文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○		○	下胎縦式	473
148	4	胴部	貝殺刺突文	ミガキ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○	○		○	○	下胎縦式　穿孔有り	613
149	4	胴部	貝殺刺突文	剥離	10YR5/2（灰黄褐）	–		○	○	○		○	下胎縦式	608
150	4	底部	ミガキ	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	10YR4/1（褐灰）	○	○	○				下胎縦式　底面ミガキ	727
151	4	底部	貝殺刺突文	不明瞭（磨滅）	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR5/2（灰褐）	○	○			○	○	下胎縦式	567
152	4	底部	不明瞭（磨滅）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	5YR4/1（褐灰）	○	○			○		下胎縦式	586
153	4	底部	ナデ	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○			○	下胎縦式	726
154	4	底部付近	貝殺刺突文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）		○	○	○			下胎縦式	728

155	4	底部	ナデ	ナデ	2.5Y5/2（暗灰黄）	2.5YR5/1（黄灰）		○	○		○	○	下刻線式	562
156	4	底部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○		○	○		下刻線式	566
157	4	底部	ミガキ	不明瞭（磨滅）	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5YR6/1（赤灰）	○	○				○	下刻線式 底面ミガキ	592
158	4	底部	貝殻刺突文	ナデ	10YR6/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）		○		○			下刻線式 底面ミガキ	621
159	4	底部	貝殻刺突文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○	○	下刻線式	527
160	3	脚～底部	貝殻刺突文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○	○		○		下刻線式	594
161	4	口縁～脚部	短沈線文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/2（灰褐）	2.5YR4/1（赤灰）	○	○	○	○	○	○	条ノ丸式 口唇部ミガキ 穿孔有り	7
162	4・5GZO	口縁～脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR6/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○		○	○	○	条ノ丸式 穿孔有り 指押さえ有り	10
163	4	口縁～脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○	○	○	○	○	条ノ丸式 ス入付着	9
164	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	2.5Y4/2（暗灰黄）		○		○	○	○	条ノ丸式	651
165	3・4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	5Y4/2（灰オリーブ）		○	○	○	○	○	条ノ丸式	650
166	4	脚～底部	ミガキ、貝殻条痕文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○	○			○	条ノ丸式 底面ミガキ	490
167	4	口縁部	ナデ、条痕文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○		○	○	○	条ノ丸式	653
168	4	口縁部	ナデ、条痕文	ミガキ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○		○	条ノ丸式 口唇部ミガキ	602
169	4	口縁部	ナデ、条痕文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○	○		○	条ノ丸式	632
170	4	口縁部	ナデ、条痕文	ミガキ	5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○	○		○	条ノ丸式 口唇部ミガキ	601
171	4	口縁部	貝殻条痕文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	○	条ノ丸式	640
172	4	口縁部	貝殻条痕文（羽状）	不明瞭（磨滅）	10YR4/1（褐灰）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○		○	○	○	条ノ丸式	627
173	4	口縁部	短沈線文（羽状）、貝殻刺突文	丁寧なナデ	5YR4/1（褐灰）	10YR5/1（褐灰）		○	○		○		条ノ丸式	624
174	3	口縁部	不明瞭（磨滅）（羽状文の痕跡か？）	不明瞭（磨滅）	10YR7/1（灰白）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○			条ノ丸式	517
175	4	口縁部	ミガキ、条痕文	ミガキ	2.5YR7/1（明赤灰）	7.5YR4/1（褐灰）		○	○	○		○	条ノ丸式	603
176	3	口縁部	ナデ、短沈線文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○	○	○	○	○	条ノ丸式	519
177	4	口縁部	貝殻条痕文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）		○	○			○	条ノ丸式	677
178	3	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/1（褐灰）	○	○		○	○	○	条ノ丸式	644
179	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○	○		○	条ノ丸式	589
180	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○	○	○		○	条ノ丸式	588
181	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	2.5YR5/1（黄灰）	○	○	○		○	○	条ノ丸式	633
182	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	5YR5/2（灰褐）		○	○	○	○	○	条ノ丸式	630
183	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○	○		○	○	条ノ丸式	634
184	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）		○	○	○	○	○	条ノ丸式	635
185	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	○	条ノ丸式	622
186	4	脚部	貝殻条痕文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	2.5Y4/1（黄灰）		○	○	○	○	○	条ノ丸式	631
187	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	10YR4/2（灰黄褐）		○		○		○	条ノ丸式	629
188	4	脚部	沈線文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○		○		条ノ丸式	591
189	3	脚部	沈線文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○				条ノ丸式	590
190	4	脚部	沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○		○	○	条ノ丸式	623
191	4	脚部	ナデ、条痕文（羽状）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○	○		○	条ノ丸式	637
192	4	脚部	ナデ、条痕文	ミガキ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR4/1（褐灰）		○		○		○	条ノ丸式	625
193	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○			条ノ丸式	636
194	4	脚部	貝殻条痕文（羽状）	ミガキ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）		○		○			条ノ丸式	626
195	4	脚部	条痕文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○			条ノ丸式	618
196	4	脚部	条痕文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/1（褐灰）	○	○		○			条ノ丸式	619
197	4	脚部	条痕文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○			条ノ丸式	620
198	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR6/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○			条ノ丸式	584
199	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文（羽状）	ナデ	5YR6/2（灰白）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○				条ノ丸式	578
200	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文（羽状）	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○		○		条ノ丸式	579
201	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文（羽状）	ナデ	2.5YR7/2（明赤灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○		○		条ノ丸式	587
202	**4**	**口縁部**	**ナデ、沈線文（流水）**	**ナデ**	**5YR6/1（灰白）**	**7.5YR5/2（灰褐）**	**○**	**○**	**○**	**○**			条ノ丸式	**719**
203	4	脚部	ナデ、沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR6/3（にぶい褐）	○	○	○	○			条ノ丸式	722
204	4	脚部	ナデ、沈線文	ナデ	5YR6/2（灰白）	7.5YR6/2（にぶい褐）	○	○	○		○		条ノ丸式	716
205	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○			○	○	条ノ丸式	561
206	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文（羽状）	ミガキ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○	○	○	○	○	条ノ丸式	489
207	4	脚部	貝殻条痕文	ミガキ	10YR5/2（灰黄褐）	2.5Y4/1（黄灰）			○		○	○	条ノ丸式	559
208	4	脚部	ナデ、貝殻条痕文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○		○	○	条ノ丸式	560
209	4	脚部	短沈線文	ミガキ	7.5YR5/2（灰褐）	5YR4/1（褐灰）	○		○	○	○	○	条ノ丸式	521
210	4	脚部	短沈線文	ミガキ	5YR7/1（明褐灰）	10YR4/1（褐灰）	○	○		○		○	条ノ丸式	496
211	4	脚部	ナデ、短沈線文	ミガキ	7.5YR7/1（明褐灰）	N3/0（暗灰）	○	○	○			○	条ノ丸式	499
212	4	脚部	ナデ、短沈線文	ミガキ？	7.5YR7/1（明褐灰）	10YR4/1（褐灰）	○	○		○		○	条ノ丸式	497

213	4	脚部	ナデ、短沈線文	不明層（遺構）	5YR8/1（灰白）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○	○			○	桑ノ丸式	498
214	4	脚部	ナデ、短沈線文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○	○	○	桑ノ丸式	512
215	4	脚部	ナデ、短沈線文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○	○	桑ノ丸式	514
216	4	脚部	ナデ、短沈線文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）		○			○	○	桑ノ丸式	511
217	4	脚部	ナデ、短沈線文	ミガキ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○	○		○	○	桑ノ丸式	520
218	4	脚部	ナデ、短沈線文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10R4/1（暗赤灰）		○	○		○	○	桑ノ丸式	515
219	4	脚部	ナデ、短沈線文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	10R4/1（暗赤灰）			○		○	○	桑ノ丸式	513
220	4	脚部	ナデ、短沈線文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/2（灰褐）		○			○		桑ノ丸式	713
221	4	底部	ナデ、貝殻条痕文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○		○	○		桑ノ丸式	642
222	4	底部	ナデ、貝殻条痕文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○			桑ノ丸式	641
223	4	脚～底部	ナデ、短沈線文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5Y4/1（灰）	○	○	○	○	○	○	桑ノ丸式	522
224	4	底部	ナデ、短沈線文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○	○	○	○	○	桑ノ丸式　底面ミガキ	524
225	4	底部	ナデ、短沈線文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5Y5/1（灰）		○	○	○	○	○	桑ノ丸式	523
226	3・4	口縁部	ナデ、短枝回転文	ナデ、短枝回転文	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○	○				426
227	4	口縁部	ナデ、短枝回転文	ナデ、短枝回転文	5YR5/3（にぶい赤褐）	2.5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○		○			429
228	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	2.5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○		○		スス付着	445
229	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○		○			444
230	3・4	脚部	ナデ、短枝回転文	ミガキか？	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	2.5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○		○			441
231	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○		○			431
232	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）		○	○	○	○			432
233	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	2.5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○		○			430
234	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ミガキか？	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	2.5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○		○			442
235	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ミガキか？	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）		○	○		○			440
236	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○	○	○			433
237	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○	○	○			434
238	4	脚部	ナデ、短枝回転文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）		○	○		○			435
239	3・4	脚部	押型文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○		○			○	ゆるい山形 燃糸文に似せている	482
240	4	脚部	押型文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	5YR5/3（にぶい赤褐）		○	○	○		○	燃糸文に似せている、裏部付近	704
241	4	脚部	押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○	○	○			燃糸文に似せている	396
242	4	底部付近	押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○			○		○	尖底と思われる 燃糸文に似せている	483
243	4	**口縁部**	燃糸文	ナデ	7.5YR5/2（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○					500
244	4	脚部	燃糸文	ナデ	5YR5/2（灰褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○	○	○	○	○			501
245	4	底部	燃糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○		○			503
246	3・4	口縁～底部	山形押型文	ナデ、原体条痕、山形押型文	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○			11
247	4	口縁部	山形押型文	原体条痕、山形押型文	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○		○					408
248	4	脚部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○		○		○			406
249	3・4	脚部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○			331
250	4	脚部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○			○			336
251	4	脚部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	2.5Y5/1（黄灰）	○	○	○	○	○			332
252	4	脚部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○	○					404
253	4	脚部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○			407
254	4	脚部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/2（灰黄褐）	○	○		○	○			333
255	4	口縁部	山形押型文	原体条痕、山形押型文	5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○						481
256	4	口縁部	山形押型文	ナデ、原体条痕、山形押型文	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○			13
257	4	口縁部	山形押型文	ナデ、原体条痕、山形押型文	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR4/3（にぶい赤褐）	○	○			○			399
258	3・4	脚部	山形押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○		○		スス付着	400
259	4	脚部	山形押型文	ナデ	5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○		○			347
260	3・4	脚部	山形押型文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○		○			478
261	4	脚部	山形押型文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○		○			480
262	3・4	口縁部	山形押型文	ナデ、原体条痕、山形押型文	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○	○				507
263	4	口縁部	山形押型文	ナデ、原体条痕、山形押型文	5YR4/2（灰褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）			○	○				458
264	4	口縁部	ナデ、山形押型文	原体条痕、山形押型文	5YR4/2（灰褐）	5YR4/2（灰褐）	○			○				459
265	4	口縁部	ナデ、山形押型文	原体条痕、山形押型文	5YR4/2（灰褐）	5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○			506
266	4	口縁部	山形押型文	原体条痕、山形押型文	5YR4/2（灰褐）	5YR5/1（褐灰）	○	○	○		○			479
267	4	口縁部	山形押型文	原体条痕、山形押型文	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○		穿孔有り	409
268	4	口縁部	山形押型文	原体条痕	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○		○	○	○			410
269	3・4	口縁～頸部	楕円押型文	ナデ、原体条痕、楕円押型文	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）		○	○					301
270	4	脚部	楕円押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○			336

271	4	口縁部	山形押型文	ミガキ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○	○			弘法原式　口唇部ミガキ	477
272	4	口縁部	ナデ、山形押型文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○	○			弘法原式　口唇部ミガキ	425
273	4	口縁部	ナデ、山形押型文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○	○			弘法原式　口唇部ミガキ	12
274	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○	○	○		弘法原式	446
275	4	口縁部付近	ナデ、山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○	○				弘法原式	452
276	4	口縁部付近	ナデ、山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	2.5Y5/2（灰赤）	○	○		○	○		弘法原式	453
277	4	口縁部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○	○	○	○	○	口唇部山形押型文	484
278	4	口縁部	ナデ、山形押型文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○				○		346
279	4	口縁部	ナデ、山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○	○	○	○			394
280	4	口縁部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○		○	○	○	掌孔有り	395
281	4	口縁部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○		○	○			413
282	4	口縁部	山形押型文	山形押型文	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○		○		○	口唇部に刻目	460
283	4	口縁部	山形押型文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	2.5Y5/1（赤灰）	○	○		○	○			411
284	4	口縁部	山形押型文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○			412
285	4	口縁部	ナデ、山形押型文	ミガキ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）		○			○		口唇部ミガキ　スス付着	418
286	4	口縁部	ナデ、山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○					419
287	4	口縁部付近	山形押型文	ナデ、山形押型文	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○				319
288	4	口縁部付近	山形押型文	山形押型文	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○		○	○			320
289	4	口縁部付近	山形押型文	ナデ、山形押型文	5YR4/2（灰褐）	2.5YR4/2（灰赤）	○	○			○			505
290	4	口縁部付近	山形押型文	山形押型文	2.5YR4/2（灰赤）	2.5YR4/3（にぶい赤褐）	○	○			○			508
291	4	口縁部付近	山形押型文	ナデ、山形押型文	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）			○	○	○			455
292	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5Y4/2（灰オリーブ）	○	○	○	○	○			485
293	4	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○	○	○	○			449
294	4	胴部	山形押型文	ミガキ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○	○				424
295	4	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○			○			451
296	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR5/2（灰褐）		○	○	○	○	○		401
297	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/2（灰黄褐）	○		○					405
298	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○	○		○			415
299	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○		○				402
300	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）		○	○					417
301	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR4/1（褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○			指押さえ有り	465
302	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR4/2（灰褐）	5YR4/2（灰褐）			○	○				457
303	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	2.5YR4/4（にぶい赤褐）	○	○		○				467
304	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○		○			403
305	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○	○	○	○			397
306	4	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○			450
307	3・4	胴部	山形押型文	剥離	7.5YR5/3（にぶい褐）	−	○	○	○		○			491
308	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○			492
309	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○	○	○			493
310	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	2.5YR4/4（にぶい赤褐）	○	○	○		○			456
311	4	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○	○	○			494
312	4	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○	○					495
313	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	5YR4/2（灰褐）	○	○						466
314	4	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR6/3（にぶい橙）	○	○	○		○			454
315	4	胴部	山形押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○		○	○			416
316	4	底部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○	○	○			486
317	4	底部	ミガキ、山形押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○	○	○	○		底面ミガキ	470
318	4	底部	ミガキ、山形押型文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○		底面ミガキ	469
319	4	底部付近	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/1（褐灰）	○	○	○	○	○			471
320	4	底部付近	山形押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR4/3（にぶい赤褐）	○	○	○	○	○			468
321	4	口縁部	楕円押型文	ナデ、楕円押型文、見隠条痕文	7.5YR5/2（灰褐）	2.5Y5/1（黄灰）		○	○	○			口唇部楕円押型文	14
322	4	胴部	ナデ、楕円押型文	見隠条痕文	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○	○		スス付着	380
323	4	口縁部	楕円押型文	楕円押型文、見隠条痕文	7.5YR4/2（灰褐）	2.5Y5/2（暗灰黄）		○		○			口唇部楕円押型文	15
324	3	口縁部	楕円押型文	楕円押型文	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○				口唇部楕円押型文	334
325	4	口縁部	楕円押型文	楕円押型文	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）			○				口唇部楕円押型文	321
326	4	口縁部	楕円押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）		○		○	○			335
327	4	口縁部	楕円押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○			○			359
328	4	胴部	ナデ、楕円押型文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○					328

329	4	胴部	ナデ、格円押型文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）			○	○			327
330	4	胴部	格円押型文、ナデ	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○		○	○			323
331	4	胴部	ナデ、格円押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）			○				322
332	3・4	胴部	格円押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○	○			○		356
333	4	胴部	格円押型文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○		358
334	4	胴部	格円押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）			○		○		325
335	4	胴部	格円押型文	不明瞭（磨滅）	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○	○			○		337
336	3・4	胴部	格円押型文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○	○				355
337	4	底部付近？	格円押型文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○			○		357
338	4	胴部	ナデ、格円押型文	ナデ	5YR6/2（灰白）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○	○	○				354
339	4	胴部	格円押型文	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR4/1（褐灰）			○				326
340	4	胴部	ナデ、格円押型文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	5YR4/2（灰褐）			○				スス付着 324
341	4	口縁部	ナデ	条痕文	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○			628
342	3	口縁部	ナデ	条痕文	5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○	○	○			731
343	3	口縁部	格子目押型文	ナデ	10YR5/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○				748
344	4	口縁付近～胴部	ナデ	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○		○		熱文土器？ 772
345	3	頸部	ナデ、縄文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○		○	平粉式 貼付突帯に刻目 結節縄文有？ 237
346	3	頸部	ナデ、縄文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○		○		平粉式 貼付突帯に刻目 464
347	3	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○	○	○	鋸ノ神A式（巻） 390
348	4	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR6/3（にぶい橙）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○	○	○	○	鋸ノ神A式（巻） 391
349	3	口縁部	ナデ、沈線文、微隆帯	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○		鋸ノ神式（巻） 微隆帯に刻目 270
350	3	口縁部	ナデ、沈線文、微隆帯	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○		鋸ノ神式（巻） 微隆帯に刻目 271
351	3	口縁部	ナデ、微隆帯	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○		○		鋸ノ神式（巻） 微隆帯に刻目 392
352		口縁部	ナデ、微隆帯	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）			○	○	○		鋸ノ神式（巻） 口唇部及び微隆帯に刻目 393
353	3	頸部	ナデ、微隆帯	ナデ	2.5YR5/3（にぶい赤褐）	2.5YR5/3（にぶい赤褐）			○		○		鋸ノ神式（巻） 微隆帯に刻目 外面に黒変有？ 279
354	3	胴部	ナデ、微隆帯	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○		鋸ノ神式（巻） 微隆帯に刻目 697
355	4	頸部	ナデ、微隆帯	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○		鋸ノ神式（巻） 微隆帯に刻目 286
356	4	頸部	ナデ、刺突文、沈線文、微隆帯	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○	○		○		鋸ノ神式（巻） 微隆帯に刻目 283
357	3	頸部	ナデ、沈線文、刺突文	ナデ	5YR4/3（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○			鋸ノ神式（巻） 貼付突帯に刻目 18
358	3・4	胴部	ナデ、沈線文、刺突文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○		鋸ノ神式（巻） 結束突起有？ 273
359	3・4	胴部	ナデ、沈線文、刺突文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○		鋸ノ神式（巻） 272
360	3	口縁部	ナデ、微隆帯	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○		鋸ノ神式 口唇部及び微隆帯に刻目 285
361	3・4	口縁部	ナデ、微隆帯、沈線文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR4/3（にぶい黄褐）			○		○		鋸ノ神式 口唇部及び微隆帯に刻目 浅状口縁 296
362	3・4	口縁部	ナデ、沈線文、微隆帯	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）		○	○				鋸ノ神式 口唇部及び微隆帯に刻目 295
363	3	口縁部	ナデ、沈線文、微隆帯、連点文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○			○		鋸ノ神式 口唇部及び微隆帯に刻目 300
364	3・4	口縁部	ナデ、沈線文、微隆帯	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○	○	○	○		鋸ノ神式 口唇部に押圧痕の刻目、口唇部に沈線文 及び刻目、連結口縁、口唇部刻目、刻目 17
365	4	口縁部	ナデ、沈線文、微隆帯	ナデ	10YR7/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）			○				鋸ノ神式 口唇部に押圧痕の刻目 微隆帯に刻目 280
366	3	口縁部	ナデ、微隆帯、沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/1（褐灰）	○		○		○		鋸ノ神式 口唇部及び微隆帯に刻目 275
367	3	口縁部	ナデ、微隆帯、沈線文か？	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○	○				鋸ノ神A式、微隆帯に刻目 口唇部に押圧痕の刻目 278
368	3	頸部	ナデ、微隆帯、燃糸文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○		鋸ノ神式 微隆帯に刻目 276
369	3	頸部	ナデ、微隆帯、燃糸文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）		○			○		鋸ノ神式 微隆帯に刻目 277
370	4	口縁部付近	ナデ、微隆帯	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR 6/ 3（にぶい黄橙）		○			○		鋸ノ神式 微隆帯に刻目 281
371	4	胴部	ナデ、微隆帯	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○	○		○		鋸ノ神式 微隆帯に刻目 274
372	3	口縁部	ナデ、沈線文、連点文、隆帯	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○		鋸ノ神A式 口唇部及び貼付突帯に刻目 222
373	4	口縁部	ナデ、沈線文、隆帯	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○		鋸ノ神A式 貼付突帯に刻目 228
374	3	頸部	ナデ、微隆帯	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○		○	○		鋸ノ神式 微隆帯に刻目 287
375	3	頸部	ナデ、微隆帯	ナデ	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○		○		鋸ノ神式 微隆帯に刻目 299
376	4	胴部	ナデ、燃糸文、微隆帯	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR7/2（明褐灰）		○		○	○		鋸ノ神式 微隆帯に刻目 234
377	4	口縁～頸部	沈線文、刺突文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○	○	鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 16
378	4	口縁部	沈線文、刺突文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○			○		鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 241
379	4	口縁部	沈線文、刺突文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○	○		○		鋸ノ神Aa式 263
380	4	口縁～頸部	沈線文、刺突文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○			鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 242
381	3	口縁部	沈線文、連点文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○	○		○		鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 224
382	3	口縁部	ナデ、沈線文、押引文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○		○			鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 267
383	4	口縁部	沈線文、刺突文	ナデ	10YR6/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○					鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 243
384	3	口縁部	ナデ、沈線文、連点文	ナデ	2.5Y5/1（黄灰）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○			鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 262
385	3	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○		○	○		鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 310
386	4	口縁部	沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/2（灰黄褐）		○	○	○	○		鋸ノ神Aa式 口唇部に刻目 227

387	3	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	5YR4/1（褐灰）	5YR4/1（褐灰）			○		○	喪ノ神Aa式　口唇部に刻目	226
388	4	口縁～頸部	ナデ	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式　口唇部に刻目 波状口縁	303
389	4	口縁付近～頸部	ナデ	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○	喪ノ神Aa式	304
390	4	口縁部	ナデ	ナデ	5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○	喪ノ神Aa式　口唇部に刻目 波状口縁	249
391	3	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/2（灰黄褐）		○	○		○ ○	喪ノ神Aa式　口唇部に刻目 （特状）	252
392	4	口縁付近～頸部	沈線文、連点文、刺突文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR6/3（にぶい褐）	○	○	○			喪ノ神Aa式	244
393	3	口縁部付近	沈線文、連点文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○		○		○	喪ノ神Aa式、類部か？	225
394	4	口縁付近～頸部	沈線文、刺突文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR6/3（にぶい黄褐）	○	○	○	○		喪ノ神Aa式	266
395	3	口縁付近～頸部	沈線文、連点文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）		○			○	喪ノ神Aa式	220
396	3	口縁付近～頸部	沈線文、ナデ	ナデ	10YR6/2（灰黄褐）	2.5Y5/1（黄灰）	○	○			○	喪ノ神Aa式	297
397	3・4	頸部	ナデ、沈線文、刺突文	ナデ	10YR7/1（灰白）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○				○	喪ノ神Aa式	219
398	4	頸部	沈線文、連点文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR7/1（明褐灰）		○	○	○	○	喪ノ神Aa式	221
399	4	頸部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式	298
400	4	頸部	沈線文、刺突文	ナデ	2.5Y5/4（黄褐）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○	○				喪ノ神Aa式	269
401	3	頸部	ナデ、沈線文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/4（にぶい黄褐）	○	○			○	喪ノ神Aa式	305
402	3	頸～胴部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○		○		○	喪ノ神Aa式	229
403	4	頸～胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○		○ ○	喪ノ神Aa式	217
404	3	頸～胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○ ○	喪ノ神Aa式	250
405	4	頸～胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○	喪ノ神Aa式　スス付着	254
406	3	頸～胴部	ナデ、連点文、撚糸文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式	235
407	3	頸部	ナデ、沈線文、刺突文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○			○	喪ノ神Aa式	268
408	4	頸部	ナデ、沈線文、刺突文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○			○	喪ノ神Aa式	282
409	4	胴部	ナデ、撚糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○	○	○	喪ノ神Aa式	367
410	3・4	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式	307
411	3	胴部	ナデ、撚糸文	ナデ	7.5YR4/ 1（褐灰）	5YR5/2（灰褐）	○	○	○		○	喪ノ神Aa式	361
412	4	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○			○ ○	喪ノ神Aa式	369
413	4	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○ ○	喪ノ神Aa式	218
414	4	胴部	ナデ、撚糸文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○		○ ○	喪ノ神Aa式	264
415	4	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	2.5Y4/1（黄灰）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○	喪ノ神Aa式	362
416	4	胴部	沈線文、撚糸文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR4/2（灰黄褐）		○	○	○	○	喪ノ神Aa式	19
417	3	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○	○	○	喪ノ神Aa式	265
418	4	胴部	ナデ、撚糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○	喪ノ神Aa式	233
419	3	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○ ○	喪ノ神Aa式	232
420	3	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式　スス付着	363
421	3	胴部	ナデ、撚糸文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○	喪ノ神Aa式	364
422	4	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	5YR4/1（褐灰）	5YR4/1（褐灰）	○	○			○	喪ノ神Aa式	370
423	3	胴部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○	喪ノ神Aa式　スス付着	368
424	3	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式	690
425	4	胴部	ナデ、撚糸文	ナデ	10YR6/2（灰黄褐）	2.5Y4/1（黄灰）		○		○	○ ○	喪ノ神Aa式	230
426	3	胴～底部付近	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式	381
427	4	胴～底部付近	ナデ、撚糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○	○	○	喪ノ神Aa式	365
428	3	胴～底部付近	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○	○			○	喪ノ神Aa式	236
429	3	底部付近	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○	○		○	喪ノ神Aa式	245
430	3	胴～底部	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR5/2（灰褐）	○			○	○	喪ノ神Aa式　小型の深鉢	248
431	3・4	胴～底部	ナデ	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○	○	○	○	喪ノ神Aa式	773
432	3	胴～底部	ナデ、撚糸文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○		○	○	喪ノ神Aa式	247
433	3	底部付近	ナデ、沈線文、撚糸文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○		○	○	喪ノ神Aa式	246
434	4	口縁部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○		○			喪ノ神Ab式　口唇部に刻目	423
435	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文 刺突文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○		○		○	喪ノ神Ab式	353
436	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	5YR6/3（にぶい橙）	5YR6/3（にぶい橙）	○		○		○	喪ノ神Ab式	422
437	3・4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	5YR6/2（灰白）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○	喪ノ神Ab式	349
438	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	5YR7/2（明褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○	喪ノ神Ab式	360
439	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	7.5YR8/2（灰白）	7.5YR6/3（にぶい褐）	○		○			喪ノ神Ab式	420
440	3	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○	喪ノ神Ab式	257
441	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○			喪ノ神Ab式	316
442	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○		○	○	○	喪ノ神Ab式	352
443	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○			喪ノ神Ab式	421
444	4	胴部	ナデ、沈線区画内に撚糸文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○		○	○	喪ノ神Ab式	302

445	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○		畿ノ坪Ab式	255
446	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	260
447	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	259
448	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR5/4（にぶい黄褐）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	258
449	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	239
450	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	330
451	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○				畿ノ坪Ab式	315
452	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR4/2（灰褐）	○			○	○		畿ノ坪Ab式	318
453	4	胴部	沈線区画内と照糸文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○			畿ノ坪Ab式	238
454	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	256
455	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR8/1（灰白）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	350
456	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○				畿ノ坪Ab式	308
457	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文、刺突文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○	○	○				畿ノ坪Ab式	351
458	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR6/4（にぶい黄橙）	○	○		○			畿ノ坪Ab式	314
459	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	309
460	4	胴部	沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○	○	畿ノ坪Ab式	240
461	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	685
462	3	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○				畿ノ坪Ab式	317
463	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	N3/0（暗灰）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	313
464	4	胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文、刺突文	ナデ	5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）				○	○		畿ノ坪Ab式	342
465	3	頸～胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○	○				畿ノ坪Ab式　スス付着	20
466	4	頸～胴部	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○		○			畿ノ坪Ab式	312
467	3・4	胴部	ナデ、沈線区画内に縄文	ナデ	10YR7/1（灰白）	10YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○		畿ノ坪Ab式	341
468	3	胴部	ナデ、沈線区画内に縄文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y5/1（黄灰）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	293
469	3	胴部	ナデ、沈線区画内に縄文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR6/4（にぶい橙）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	289
470	3	胴部	沈線区画内に縄文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○		畿ノ坪Ab式	292
471	3	胴部	貝殻刺突文、縄文、沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/1（褐灰）		○		○	○		畿ノ坪Ab式	348
472	**4**	**胴部**	**沈線区画内に縄文**	**ナデ**	**5YR6/4（にぶい橙）**	**2.5Y5/1（黄灰）**	**○**	**○**		**○**	**○**		**畿ノ坪Ab式**	**291**
473	4	胴部	ナデ、沈線区画内に縄文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/2（灰褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	294
474	3	胴部	ナデ、沈線区画内に縄文	ナデ	10YR4/1（褐灰）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○			○		畿ノ坪Ab式	290
475	3	底部付近	ナデ、沈線区画内に照糸文	ナデ	10YR6/4（にぶい黄橙）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○		畿ノ坪Ab式	261
476	3	口縁部	ナデ、貝殻刺突文	ナデ	5YR4/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○	○	○	○		畿ノ坪B式　口唇部に刻目	22
477	3	口縁部	ナデ、貝殻押引文	ナデ	10YR4/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○		畿ノ坪B式　口唇部に刻目	21
478	3・4	口縁～頸部	ナデ、貝殻刺突文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	7.5YR6/2（灰褐）		○	○	○	○		畿ノ坪B式　スス付着　口唇部に刻目	387
479	3・4	口縁部	ナデ、貝殻刺突文	ナデ	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）		○	○	○	○		畿ノ坪B式	385
480	3	口縁～頸部	ナデ、貝殻刺突文	ナデ	7.5YR6/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）		○	○	○	○		畿ノ坪B式	389
481	3	口縁～頸部	ナデ、貝殻押引文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	2.5Y5/2（暗灰黄）	○	○	○				畿ノ坪B式　スス付着	386
482	4	口縁部	ナデ、貝殻刺突文、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○	○	○	○		畿ノ坪B式	382
483	3	口縁部	ナデ、貝殻刺突文、沈線文	ナデ	10YR6/3（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○		○		畿ノ坪B式	383
484	3	口縁部	ナデ、貝殻刺突文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○	○	○		畿ノ坪B式	384
485	4	頸部	ナデ、貝殻押引文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y6/2（灰黄）	○	○	○		○		畿ノ坪B式	388
486	3	頸部付近？	ナデ、沈線文、貝殻押引文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○	○	○		畿ノ坪B式	689
487	3	胴部	貝殻刺突文、ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	10YR6/4（にぶい黄橙）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○		○		畿ノ坪Bc式	374
488	3・4	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○	○	○		畿ノ坪Bc式　指押さえ有り	376
489	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○	○	○		畿ノ坪Bc式　指押さえ有り	373
490	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○	○		○		畿ノ坪Bc式	375
491	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	7.5YR5/3（にぶい褐）		○	○	○	○		畿ノ坪Bc式	372
492	3	胴部	沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	7.5YR7/1（明褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○	○	○		畿ノ坪Bc式	647
493	3	胴部	沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	2.5YR7/2（明赤灰）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○	○			畿ノ坪Bc式	649
494	3	胴部	沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	7.5YR5/1（褐灰）	○	○	○		○		畿ノ坪Bc式	669
495	4	胴部	貝殻条痕文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	2.5YR5/1（赤灰）	○	○	○	○			畿ノ坪Bc式	673
496	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	10YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）		○	○	○	○		畿ノ坪Bc式　スス付着	379
497	4	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	5YR5/2（灰褐）		○		○			畿ノ坪Bc式	646
498	4	胴部	沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	10YR6/1（灰白）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○		○		畿ノ坪Bc式	670
499	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○	○	○		畿ノ坪Bc式	707
500	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○	○	○	○		畿ノ坪Bc式	377
501	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	10YR5/3（にぶい黄褐）	2.5Y4/2（暗灰黄）		○	○	○	○		畿ノ坪Bc式　スス付着	378
502	3	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○		○		○		畿ノ坪B式	701

503	4	胴部	沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR4/2（灰黄褐）	○	○	○	○	○	縄ノ神Bc式	686
504	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	5YR7/1（明褐灰）	10YR6/2（灰黄褐）	○	○	○	○		縄ノ神Bc式	672
505	4	胴部	貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）		○		○	○	縄ノ神Bc式	688
506	4	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	7.5YR6/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○	○	縄ノ神Bc式	696
507	4	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR4/1（褐灰）		○	○		○	縄ノ神Bc式	702
508	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	10YR7/1（灰白）	7.5YR6/3（にぶい褐）	○	○	○			縄ノ神Bc式	671
509	3	胴部	ナデ、沈線区画内に貝殻条痕文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○			○	縄ノ神Bc式	708
510	3	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	2.5YR7/2（明赤灰）	10YR5/3（にぶい黄褐）	○	○	○			縄ノ神式　線刻画？	718
511	4	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○		○		縄ノ神式　線刻画？	720
512	3	胴部	ナデ、沈線文	ナデ（一部条痕が残る）	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○				縄ノ神式　線刻画？	723
513	3	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR6/3（にぶい褐）	○	○	○			縄ノ神式　線刻画？	725
514	4	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	10YR6/3（にぶい黄橙）	○	○			○	縄ノ神式　線刻画？	253
515	3	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○		○	縄ノ神式 ミニチュアア　線刻画？	717
516	3	胴部	ナデ、沈線文	ナデ	5YR5/4（にぶい赤褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○	○			縄ノ神式 ミニチュアア　線刻画？	721
517	3	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR6/3（にぶい褐）	10YR6/2（灰黄褐）	○	○		○	○	縄ノ神Bd式　口唇部に刻目	539
518	4	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○		○	○	縄ノ神Bd式　口唇部に刻目 未貫通の穿孔（2箇所）有り	537
519	3	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○	○	縄ノ神Bd式　口唇部に刻目	538
520	3	口縁部	ナデ、沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○	縄ノ神Bd式　口唇部に刻目	536
521	3	口縁部付近	ナデ、沈線文	ナデ	10YR5/2（灰黄褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○		○	○	縄ノ神Bd式	540
522	3	口縁～底部	貝殻条痕文、刺突文	条痕	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR5/2（灰褐）					○	条痕文土器　穿孔有り 口唇部に刻目　波状口縁	674
523	—	胴部	ナデ、貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	7.5YR5/3（にぶい褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○	○				779
524	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	5YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）	○	○	○	○	○	スス付着	777
525	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	2.5Y4/1（黄灰）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○	○	○			780
526	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	10YR4/1（褐灰）	7.5YR5/2（灰褐）		○	○	○			778
527	3	口縁～胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR5/3（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○	○	○		早期末の条痕文	681
528	3	口縁～胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）		○	○		○	早期末の条痕文　穿孔有り 6390±30年BP	24
529	3	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR5/2（灰褐）	10YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	早期末の条痕文	693
530	3	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	5YR5/4（にぶい赤褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○	○	○		早期末の条痕文	705
531	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	5YR5/3（にぶい赤褐）	2.5YR4/1（赤灰）	○	○			○	早期末の条痕文	695
532	3	口縁部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	7.5YR4/2（灰褐）	10YR4/2（灰黄褐）		○		○		早期末の条痕文　穿孔有り	23
533	3・4	口縁～胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○		早期末の条痕文 口唇部に刻目	667
534	3	口縁部	ナデ、貝殻条痕文	貝殻条痕文	5YR5/3（にぶい赤褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○				早期末の条痕文　スス付着	656
535	3	口縁部	ナデ、貝殻条痕文	ナデ	7.5YR4/2（灰褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○			○	早期末の条痕文　口唇部に刻目 スス付着　指押さえ有り	663
536	3	口縁部	ナデ、貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR4/1（褐灰）	7.5YR4/2（灰褐）		○			○	早期末の条痕文　穿孔有り	684
537	3	口縁部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	2.5YR5/4（にぶい赤褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）	○	○	○			早期末の条痕文	683
538	4	口縁部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	10R4/1（暗赤灰）	5YR4/2（灰褐）	○	○		○		早期末の条痕文	740
539	3	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR4/2（灰褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○		○		早期末の条痕文	658
540	3	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR5/2（灰褐）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○		○		早期末の条痕文	659
541	4	胴部	ナデ（一部条痕が残る）	貝殻条痕文	5YR5/3（にぶい赤褐）	5YR5/3（にぶい赤褐）	○	○				早期末の条痕文	668
542	4	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	10YR4/1（褐灰）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○		早期末の条痕文	666
543	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	7.5YR4/2（灰褐）	5YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	早期末の条痕文　スス付着	461
544	4	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	10YR5/2（灰黄褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○		早期末の条痕文	463
545	4	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	10YR5/2（灰黄褐）	2.5Y5/2（暗灰黄）	○	○	○	○		早期末の条痕文	733
546	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	10YR4/1（褐灰）	10YR4/1（褐灰）	○	○			○	早期末の条痕文	694
547	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	2.5YR4/1（赤灰）	5YR4/1（褐灰）	○	○				早期末の条痕文	665
548	4	胴部	ナデ	貝殻条痕文	7.5YR5/4（にぶい褐）	7.5YR4/2（灰褐）		○			○	早期末の条痕文	699
549	3・4	胴部	ナデ	貝殻条痕文	7.5YR5/3（にぶい褐）	5YR5/4（にぶい赤褐）		○	○		○	早期末の条痕文	698
550	3	胴部	ナデ、貝殻条痕文	貝殻条痕文	5YR4/2（灰褐）	10YR5/2（灰黄褐）	○	○	○		○	早期末の条痕文　穿孔有り	691
551	4	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○		早期末の条痕文	462
552	3	胴部	ナデ（一部条痕が残る）	貝殻条痕文	2.5YR7/1（明赤灰）	5YR4/1（褐灰）		○	○	○		早期末の条痕文	703
553	3	胴部	貝殻条痕文	ナデ（一部条痕が残る）	7.5YR5/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	早期末の条痕文	657
554	3	胴部	ナデ、貝殻条痕文	貝殻条痕文	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○			○	早期末の条痕文	654
555	3	胴部	貝殻条痕文	条痕	7.5YR4/2（灰褐）	7.5YR5/2（灰褐）	○	○		○	○	縄石槍	763
556	4	胴部	貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR4/3（褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○		○		縄石槍	761
557	3	胴部	ナデ、貝殻条痕文	貝殻条痕文	7.5YR4/3（褐）	7.5YR5/3（にぶい褐）	○	○			○	縄石槍	762
558	4		ナデ	ナデ	5YR4/2（灰褐）	7.5YR4/1（褐灰）	○	○		○	○	メシコ　未貫通の穿孔有り	709
559	4		ナデ	貝殻条痕文	10YR5/3（にぶい黄褐）	7.5YR5/4（にぶい褐）	○	○		○	○	メシコ	711
560	4		ナデ	ナデ	7.5YR6/4（にぶい橙）	2.5Y4/1（黄灰）	○	○			○	メシコ	710

6．石器

縄文時代早期の遺物包含層中より2878点の石器が出土している。ここではその中で製品類を中心に報告を行う。なお、石器の整理作業に当たっては従来使用されている器種についての分類基準を設定し、器種分類を行った。器種分類については本遺跡の報告のためにおこなった分類作業であり、他の遺跡と共通するものではない。

石鏃(561～664)

剥片を素材とし、両面調整や半両面調整により鋭い先端部を作り出し、平面形がおおむね三角形や五角形を想定させるもの。欠損品も含めて総数で163点出土している。平面形状や加工状況により以下のように細分した。

・１類(561～563)：基部の抉りがほとんどなく平面形は概ね正三角形を呈し、規模が1.5cm四方におさまるもの。いわゆる平基鏃に分類される。

・２類(564～567)：規模は１類とほぼ同じだが基部の抉りが強く、脚部が明瞭にみられるもの。

・３類(568～575)：基部の抉りが浅く、平面形は二等辺三角形を呈するもの。一部に１類と類似する資料もあるが規模が1.5cm四方以上である。

・４類(576～606)：特徴的な抉り・脚部を有するもので脚部の端部が尖るか四角形を呈するもの。いわゆる鍬形鏃に該当する。チャート製の資料が目立つ。脚部のみの欠損品も多く見られる。総数で48点出土している。

・５類(607～610)：４類と同じように特徴的な抉り・脚部を有するものであるが、脚部の端部が丸く作られているもの。609・610の先端部はやや鈍く作られている。

・６類(611)　　：表面に局所的に擦痕が観察され、研磨がおこなわれているとわかるもの。

・７類(612)　　：抉りが浅く胴下半部に最大幅を持ち、その付近から屈曲し全体の形状が五角形を呈するいわゆる帖地型石鏃に該当する。黒曜石製で尖端部の左側縁の調整は急角度で、特徴的である。

・８類(613～630)：片面又は両面の加工が周縁部のみにとどまり、素材剥片の形状を大きく残すもの。一部には石鏃の未製品も含まれている可能性が考えられる。総数で20点出土している。

・９類(631～641)：刃部が鋸歯状を呈するもの。脚部が外側に張り出し、突出部を持つものもある。

・10類(642～644)：体部中央付近から外側に張り出すように屈曲する基部の抉りが深いもの。全体の形状が将棋の駒のような形状となる。

・11類(645～648)：先端部付近が屈曲し、脚部付近に最大幅を持つもの。先端部に再加工を施した石鏃の可能性が有るもの。

・12類(649～660)：上記の分類に当てはまらないものをここにまとめた。基部の抉りは深いものばかりである。総数で14点出土している。659は脚部の端部に凹凸が確認される。

・13類(661～664)：欠損が著しく、分類作業ができなかった資料である。総数で42点出土している。

石鏃未製品(665～683)

剥片を素材とし、石鏃とほぼ同規模で両面調整や半両面調整により平面形が三角形や楕円形を呈するもの。石鏃に比べ先端部が鈍いものや全体が分厚いもの、加工が未熟なものなどを分類した。一部には石錐や８類の石鏃を含んでいる可能性がある。総数で29点出土している。

尖頭状石器(684)

剥片を素材とし、両面調整や半両面調整により鈍い先端部と抉りのない基部を持つもの。石鏃よりは規模は大きい。石鏃未製品の可能性もある。

尖頭器(685)

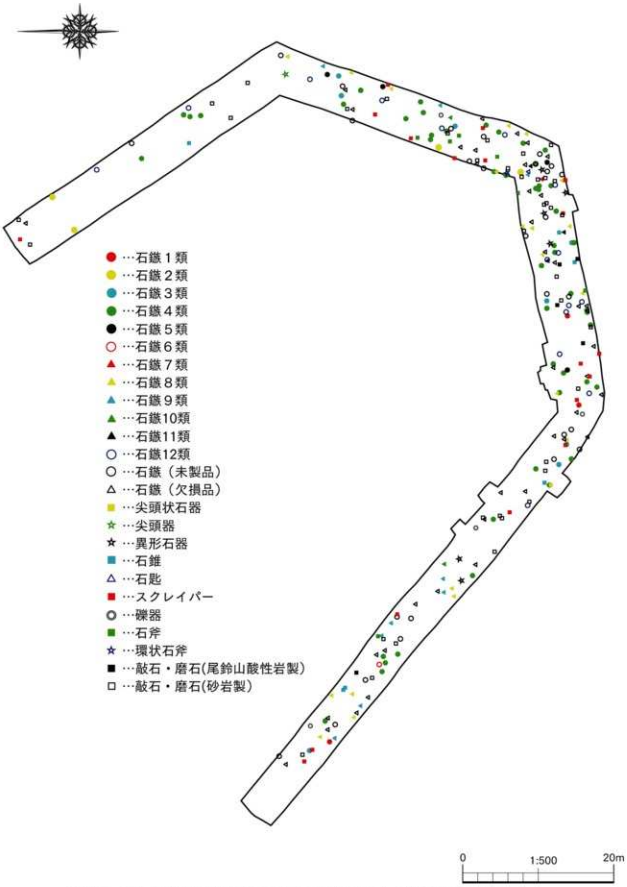
剥片を素材として両面調整または半両面調整により尖端部を作り出すもので、平面形が柳葉形を想定させるもの。黒曜石製のものが１点出土している。左右対称の形状で、素材剥片の主要剥離面を一部残している。

異形石器(686～692)

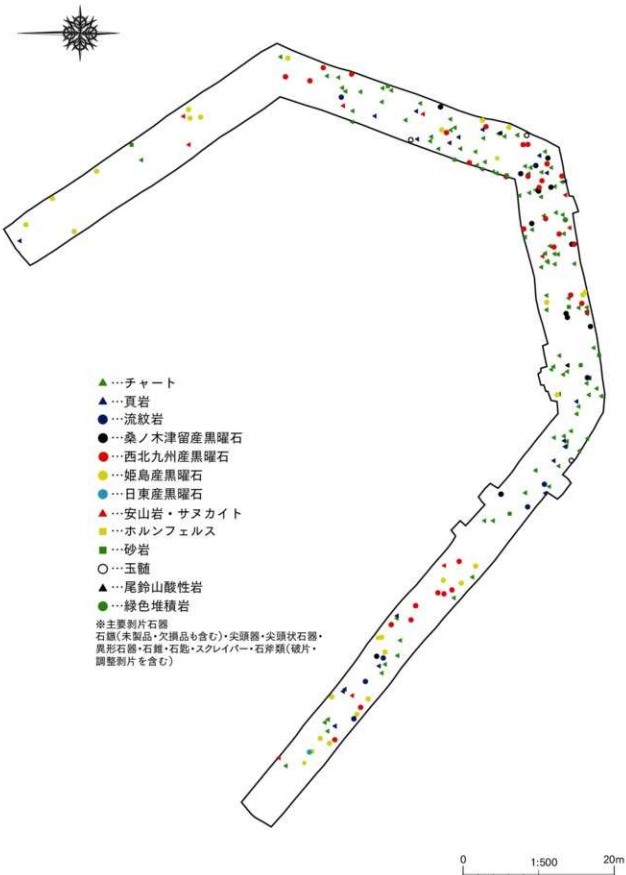
定型的な石器とは異なる形状を呈するものや機能が類推できない石器をまとめた。以下の３種類に分類される。石材には黒曜石や白色系のチャートが使用されており、黒色･白色の色調を意識しているような印象を受ける。

・１類(687・688)：平面形が石鏃のような形をしているが先端部は尖らないもの。いわゆるトロトロ石器と呼ばれる資料である。688の表面の稜線は鈍くなっている部分がある。

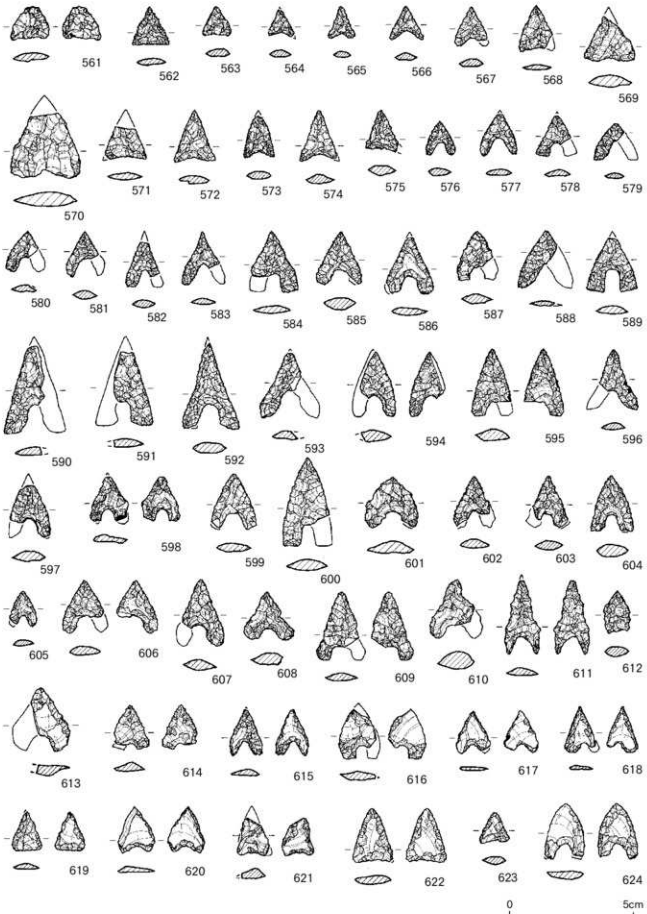
・２類(690・692)：体部の真ん中付近に抉りが入っているもの。690は下端部に二次加工が見られることからスクレイパーや石匙かもしれない。692も欠損が著しいため、別器種の可能性が有る。



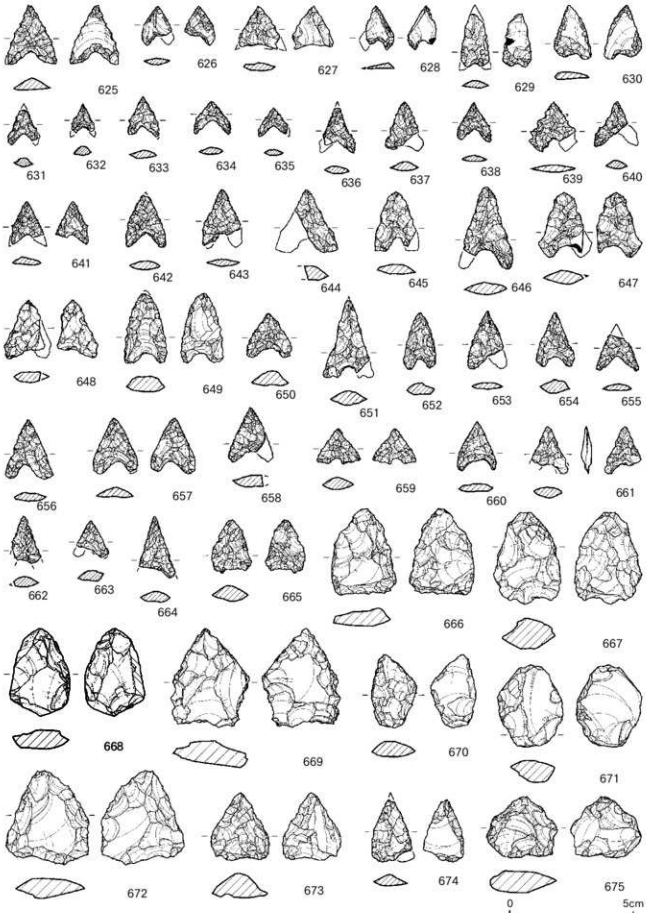
第71図　縄文時代早期遺物包含層出土主要石器分布図　（器種別：S＝1/500）



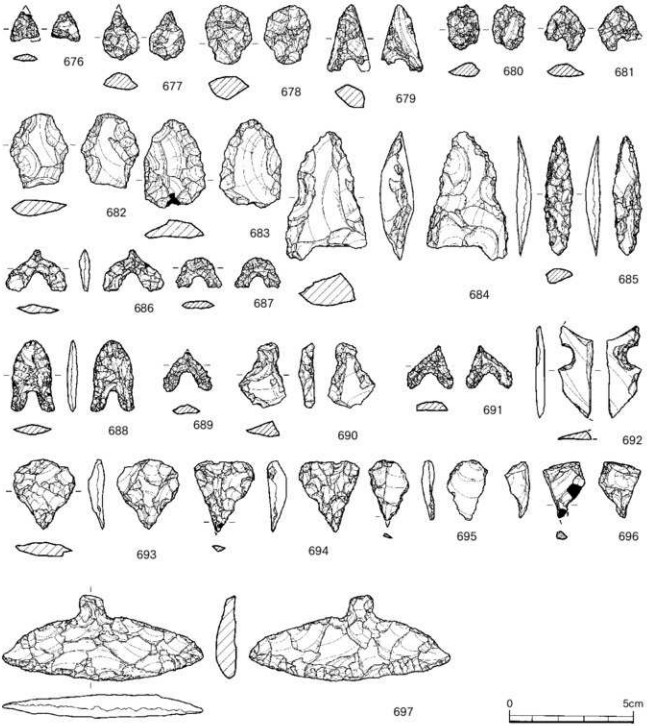
第72図　縄文時代早期遺物包含層出土主要石器分布図　（石材別：S＝1/500）



第73図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図①　(S＝2/3)



第74図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図②　(S＝2/3)



第75図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図③　(S＝2/3)

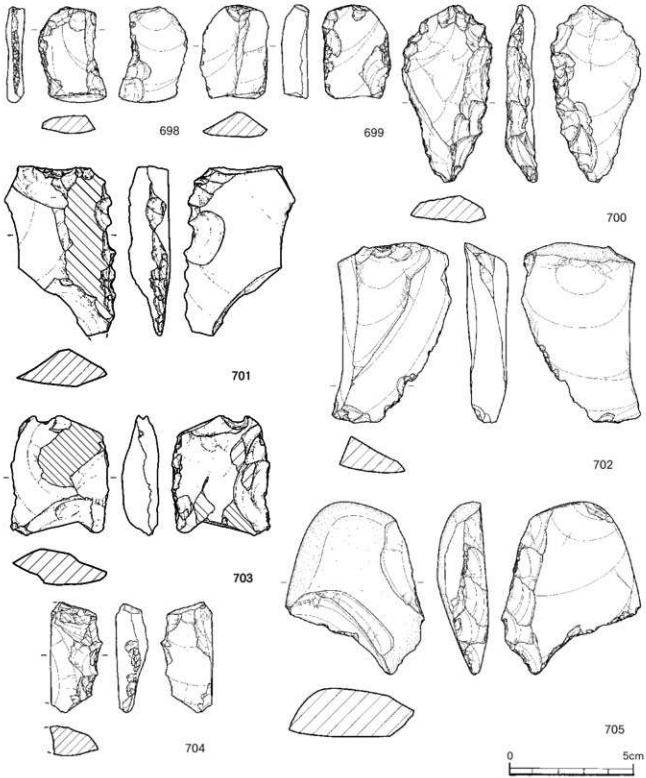
・３類(686・689・691)：先端部付近がわずかに尖り、深い抉りを持つもの。石鏃の可能性も考えられるが、先端部が非常に短い特徴から異形石器として分類を行った。

石錐(693～696)

剥片を素材として両面調整・半両面調整または素材剥片の一部に調整を施し、尖端部(錐部)を作り出したもの。総数で７点出土している。

石匙(697)

剥片を素材として、一部に両側からの調整によってつまみ部分を作り出し、その他の部分に刃部加工を施すもの。チャート製のものが１点出土している。横型で、両面調整で仕上げられた完存品である。



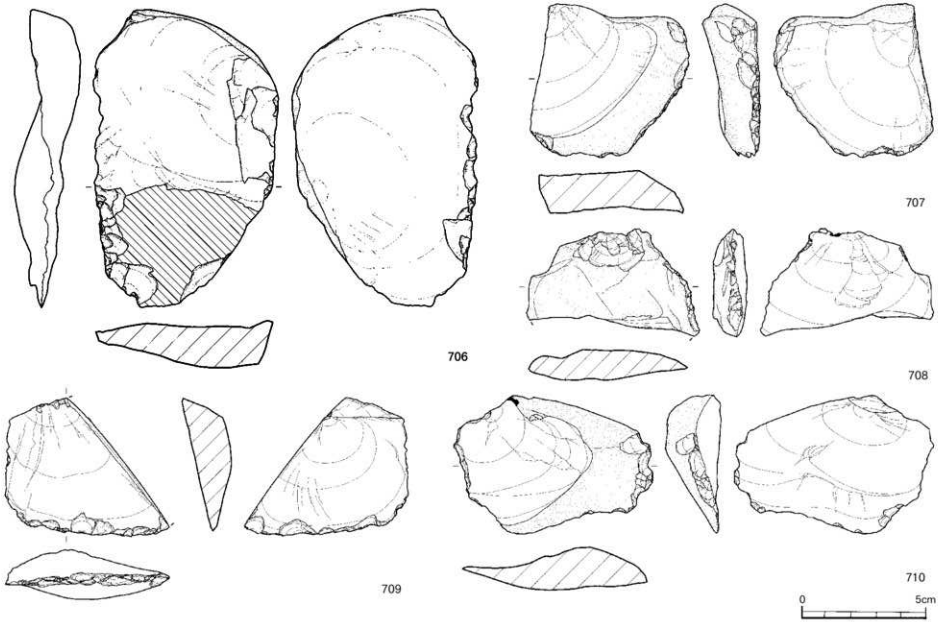
第76図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図④　(S＝2/3)

スクレイパー (698～710)

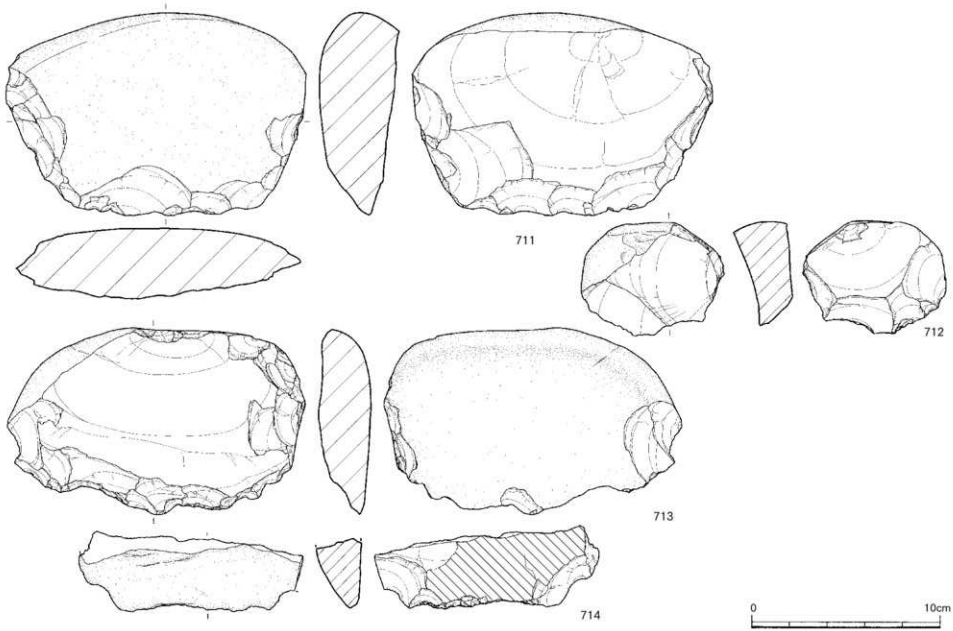
剥片を素材として縁辺に連続的な刃部調整を行ったもの。調整は周縁部にとどまる。刃部加工は素材剥片の長軸に施すもの(698～701・703～709)と短軸に施すもの(702・710)と認められる。総数で23点出土している。様々な石材が使用されているが、頁岩・砂岩が特に多く用いられている。

礫器(711～714)

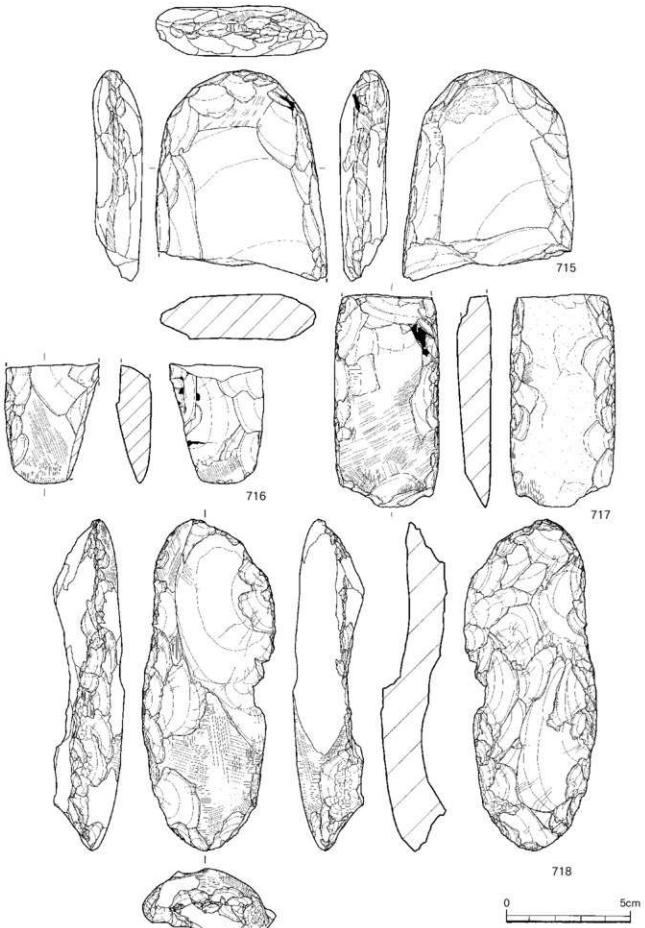
分割礫の縁辺に荒い加工を施して刃部を作り出したもの。一部に石核が混入している可能性も有る。



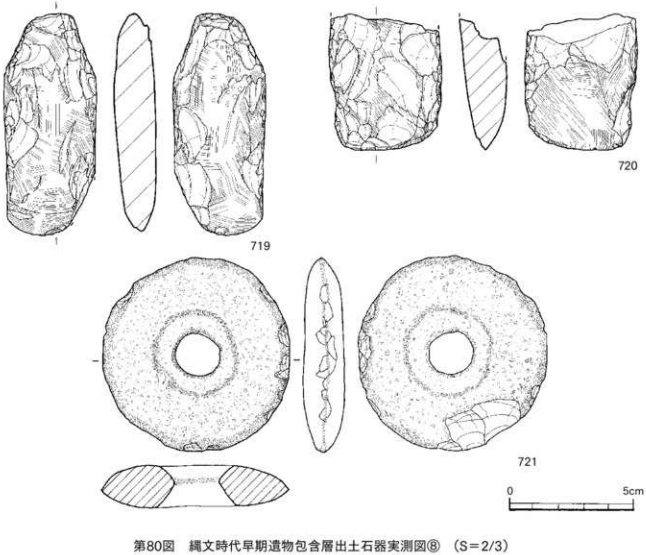
第77図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑤　(S＝2/3)



第78図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑥　(S＝1/2)



第79図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑦　(S=2/3)



第80図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑧　(S＝2/3)

石斧及び石斧片(715～720)

剥片または縦長の礫を素材とし、その短辺に刃部を成形するもの。平面形は四角形又は五角形を呈する。ホルンフェルスが多用されており、総数で８点出土しているがそのほとんどが欠損品である。**718・719**には部分的に敲打痕が確認されるが、その他の資料には見られない。**718**は研磨面を打ち欠いて全体の形状を整えようとしている状況が見られ、石斧の再加工品と考えられる。これらの他に図示していないが石斧関連の資料としてホルンフェルス製の調整剥片と考えられる研磨痕を有する剥片が２点出土している。

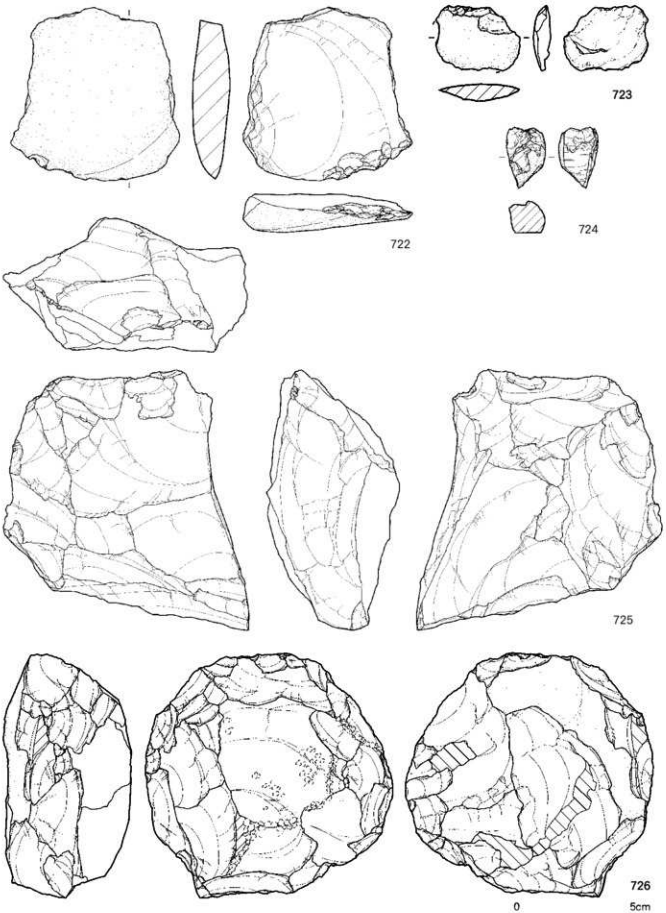
環状石斧(721)

器形全体に敲打・研磨等の調整を施して平面形を車輪状に整え、その外周に刃部を成形するもの。１点のみ出土している。黒色系の砂岩製で刃部付近が部分的に欠けているものの、全体の形状を良好に残している。器面には敲打痕しか見られず研磨は行われていない。なお、刃部の欠損部分については敲打痕を切っているため、使用痕の可能性が考えられる。内孔径は1.7㎝を測る。環状石斧としては小型の部類である。

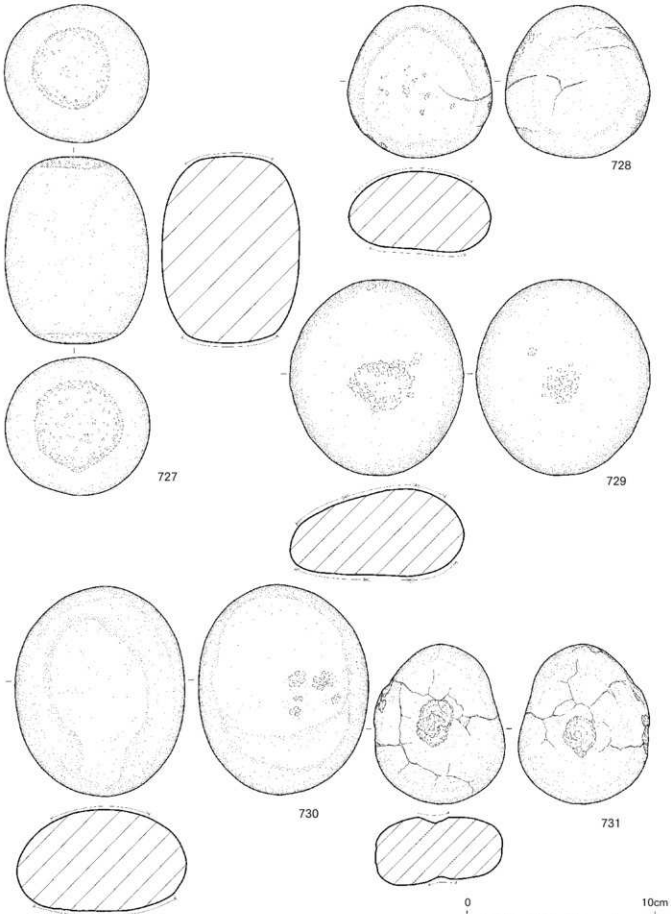
剥片・砕片(722・723)　石核(724～726)

剥片は剥片を素材としており、意図が不明瞭な二次加工が施されているものやまったく加工されていないものをまとめた。また砕片は１cm四方に収まるものを分類した。石核は礫又は剥片を素材とするが、形態を整えるためとはみなしがたいネガティブな剥離面を持つものを分類した。

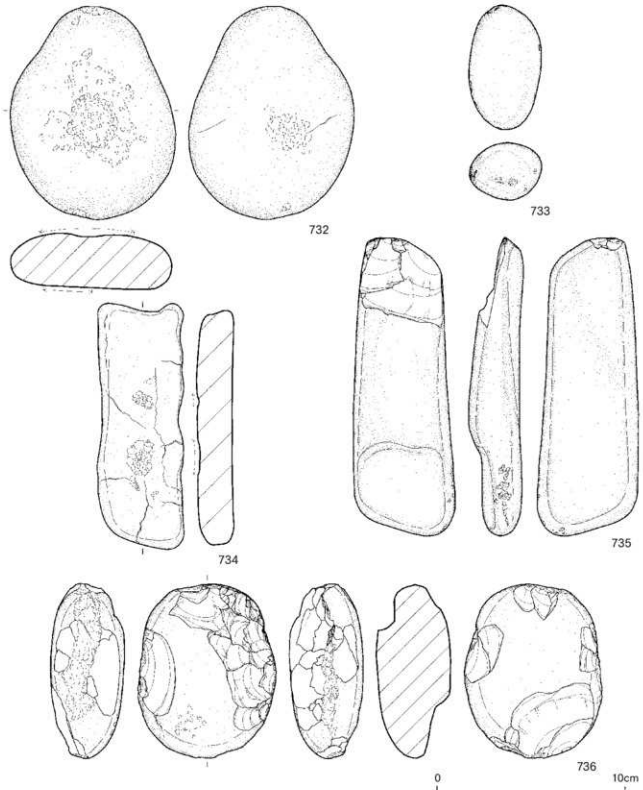
遺物包含層中より出土した剥片・砕片・石核をあわせた数量を主な石材ごとに以下に記載する。頁岩・流紋岩314点・3518.8g。チャート1456点・2885.8g(チャートについては分割礫も含んでいる)。砂岩157点・9683.7g。黒曜石(桑ノ木津留産265点・135.5g、姫島産141点・109.8g、西北九州産208点・199.6g、鹿児島県産12点・7.9g)。



第81図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑨　(S＝2/3)



第82図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑯　(S＝1/2)

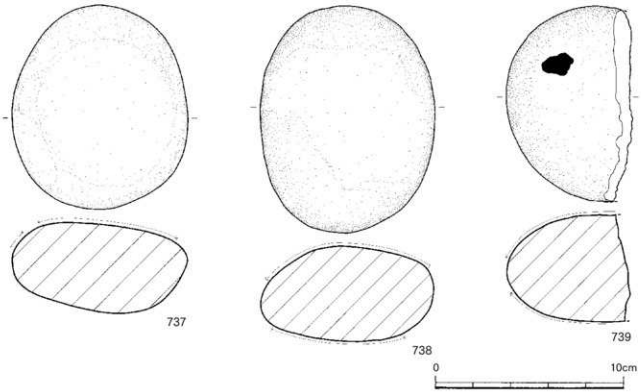


第83図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑪　(S＝1/2)

サヌカイト・安山岩15点・26.8g。尾鈴山酸性岩3点・99.3g。水晶3点・6.3g。ホルンフェルス7点・53.2g。

敲石・磨石(727～739)

敲石は礫を素材として、その一端・両端・平らな面に敲打の結果と考えられる割れや敲打痕、敲打によるものと推定されるくぼみを持つものを分類した。磨石は円礫の平らな面の片面または両面に平滑な面を持つものを分類した。総数で42点出土している。そのほとんどが砂岩製で、尾鈴山酸性岩製のものが5点見られる。



第84図　縄文時代早期遺物包含層出土石器実測図⑫　(S＝1/2)

第９表　縄文時代早期遺物包含層出土石器計測分類表①

報告書 No.	実測 No.	器種	出土 グリット	層位	石材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
561	123	打製石鏃	D	3	チャート	1.3	1.55	0.35	0.6	1類
562	94	打製石鏃	D	3	黒曜石(桑ノ木津留)	1.5	1.5	0.25	0.4	1類
563	88	打製石鏃	A	4	黒曜石(姫島)	1.15	1.1	0.3	0.4	1類
564	54	打製石鏃	F	4	黒曜石(桑ノ木津留)	(1.1)	1.05	0.25	(0.2)	2類　先端・右脚部欠損
565	65	打製石鏃	I	3	黒曜石(姫島)	1.25	1.1	0.2	0.2	2類
566	82	打製石鏃	I	3	黒曜石(姫島)	1.3	1.35	0.3	0.3	2類
567	97	打製石鏃	F	4	チャート	1.55	1.3	0.3	(0.6)	2類　右脚部欠損
568	59	打製石鏃	C	3	チャート	1.8	1.35	0.2	0.5	3類　右脚部欠損
569	98	打製石鏃	C	4	チャート	(1.8)	2	0.5	(1.4)	3類　先端部欠損
570	60	打製石鏃	G	3	チャート	(2.6)	2.8	0.55	(4.4)	3類　先端部欠損
571	50	打製石鏃	F	4	チャート	(1.35)	1.7	0.3	(0.6)	3類　先端・左脚部欠損
572	53	打製石鏃	G	4	流紋岩	2.05	1.7	0.3	0.8	3類
573	78	打製石鏃	E	4	黒曜石(桑ノ木津留)	(1.65)	1.25	0.3	(0.6)	3類　先端部欠損
574	75	打製石鏃	E	3	黒曜石(姫島)	2	1.5	0.35	(0.6)	3類　右脚部欠損
575	62	打製石鏃	A	4	黒曜石(日東産)	1.65	(1.3)	0.4	(0.6)	3類　右脚部欠損
576	81	打製石鏃	F	4	チャート	1.35	1.15	0.3	0.4	4類
577	31	打製石鏃	B	4	チャート	(1.65)	1.45	0.25	(0.5)	4類　先端部欠損
578	107	打製石鏃	F	4	チャート	(1.6)	(1.4)	0.25	(0.4)	4類　先端・右脚部欠損
579	26	打製石鏃	F	4	チャート	1.45	(1.2)	0.2	(0.3)	4類　右脚部欠損
580	29	打製石鏃	C	4	チャート	1.6	(1.3)	0.25	(0.4)	4類　右脚部欠損
581	104	打製石鏃	E	4	チャート	1.8	(1.3)	0.35	(0.5)	4類　右脚部欠損
582	57	打製石鏃	G	4	チャート	(1.8)	(1.35)	0.3	(0.5)	4類　先端・右脚部欠損
583	89	打製石鏃	D	4	チャート	2.1	(1.5)	0.25	(0.5)	4類　右脚部欠損
584	63	打製石鏃	F	4	チャート	2.4	(1.85)	0.3	(1.1)	4類　左脚部欠損

原産地推定結果有り　(　)の値は残存値を示す

第10表　縄文時代早期遺物包含層出土石器計測分類表②

報告書No.	実測No.	器種	出土グリット	層位	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
585	28	打製石鏃	E	4	チャート	2.1	1.8	0.5	(1.2)	4類　右脚部欠損
586	36	打製石鏃	D	4	チャート	(2.25)	(1.9)	0.3	(1.1)	4類　先端・左脚部欠損
587	84	打製石鏃	C	4	チャート	1.95	(1.4)	0.4	(0.8)	4類　右脚部欠損
588	79	打製石鏃	F	4	チャート	2.25	(1.6)	0.2	(0.6)	4類　右脚部欠損
589	67	打製石鏃	I	3	チャート	(2.15)	2	0.3	(1.2)	4類　先端部欠損
590	45	打製石鏃	B	3	チャート	(3.45)	(1.6)	0.3	(1.6)	4類　先端・右側面脚部欠損
591	66	打製石鏃	A	3	チャート	(2.95)	(1.55)	3	(1.5)	4類　先端・左側面脚部欠損
592	64	打製石鏃	F	4	チャート	(3.4)	2.25	0.45	(2.2)	4類　先端・左脚部欠損
593	48	打製石鏃	B	4	チャート	(2.55)	(1.65)	0.35	(0.8)	4類　先端・右脚部欠損
594	93	打製石鏃	F	4	チャート	(2.55)	(1.4)	0.45	(1.3)	4類　左側面～脚部欠損
595	116	打製石鏃	E	4	チャート	2.65	(1.6)	0.45	(1.5)	4類　右脚部欠損
596	106	打製石鏃	B	4	流紋岩	2.4	(1.55)	0.25	(0.6)	4類　左脚部欠損
597	69	打製石鏃	D	4	黒曜石(桑ノ木津留)	(2.05)	(1.65)	0.4	(1)	4類　先端・左脚・右脚部欠損
598	127	打製石鏃	E	4	黒曜石(桑ノ木津留)	(1.75)	1.55	0.35	(0.7)	4類　先端・両脚部欠損
599	34	打製石鏃	H	3	黒曜石(姫島)	2.25	(1.8)	0.35	(0.9)	4類　左脚部欠損
600	105	打製石鏃	H	3	黒曜石(姫島)	3.5	(1.85)	0.45	(2)	4類　右脚部欠損
601	76	打製石鏃	E	3	黒曜石(西北九州)	2.05	2.1	0.5	(1.7)	4類　右脚部欠損
602	27	打製石鏃	F	3	黒曜石(腰岳)	(2)	(1.45)	0.35	(0.6)	4類　両脚部欠損
603	33	打製石鏃	E	4	黒曜石(腰岳)	(2.05)	(1.4)	0.35	(0.7)	4類　両脚部欠損
604	58	打製石鏃	H	3	安山岩	2.2	1.7	0.5	1.5	4類　右脚部欠損
605	103	打製石鏃	F	4	安山岩	1.4	(1.1)	0.2	(0.2)	4類　左脚部欠損
606	131	打製石鏃	G	4	安山岩	2.05	1.65	0.35	(0.9)	4類　右脚部欠損
607	30	打製石鏃	G	4	チャート	2.65	1.7	0.4	(1.2)	5類　左脚部欠損
608	42	打製石鏃	G	4	チャート	1.9	2	0.45	1.3	5類
609	121	打製石鏃	D	4	チャート	2.7	(1.65)	0.3	(1)	5類　右脚部欠損
610	39	打製石鏃	F	4	黒曜石(腰岳)	2.3	(1.8)	0.7	(1.8)	5類　右脚部欠損
611	68	打製石鏃	B	4	頁岩	(2.95)	1.4	0.3	(1)	6類　先端部欠損
612	102	打製石鏃	E	4	黒曜石(西北九州)	1.7	1.05	0.4	0.8	7類
613	32	打製石鏃	E	4	チャート	(2.6)	(1.3)	0.4	(1.3)	8類　左側面・脚部欠損
614	124	打製石鏃	F	3	チャート	1.75	(1.4)	0.35	(0.8)	8類　両脚部欠損
615	77	打製石鏃	B	4	チャート	(1.85)	1.3	0.25	(0.6)	8類　先端部欠損
616	139	打製石鏃	C	4	チャート	(2)	(1.5)	0.35	(0.9)	8類　先端・右脚部欠損
617	117	打製石鏃	G	4	チャート	1.65	1.4	0.15	(0.4)	8類　右脚部欠損
618	134	打製石鏃	E	4	チャート	1.85	(1.2)	0.15	(0.4)	8類　右脚部欠損
619	133	打製石鏃	E	4	安山岩	(1.55)	1.2	0.2	(0.4)	8類　先端部欠損
620	112	打製石鏃	A	3	流紋岩	1.85	1.95	0.25	0.6	8類
621	109	打製石鏃	G	4	黒曜石(腰岳)	(1.5)	1.25	0.4	(0.7)	8類　先端・左側面・右脚部欠損
622	136	打製石鏃	A	3	黒曜石(姫島)	2.15	1.6	0.35	1	8類　右脚部欠損
623	70	打製石鏃	G	4	黒曜石(姫島)	1.2	1.2	0.3	0.3	8類
624	129	打製石鏃	E	4	黒曜石(姫島)	(2.2)	(1.6)	0.3	(1)	8類　両脚部欠損
625	111	打製石鏃	D	4	黒曜石(姫島)	2.3	(1.95)	0.45	(1.2)	8類　左脚部欠損
626	80	打製石鏃	E	3	黒曜石(桑ノ木津留)	1.55	(1.2)	0.25	(0.4)	8類　右脚部欠損
627	130	打製石鏃	B	3	黒曜石(西北九州)	(1.75)	(1.6)	0.3	(0.8)	8類　両脚部欠損
628	110	打製石鏃	E	4	安山岩	(1.75)	(1.2)	0.2	(0.4)	8類　左脚部欠損
629	119	打製石鏃	A	4	安山岩	(2.15)	(1.15)	0.3	(0.7)	8類　先端・両脚部欠損
630	114	打製石鏃	F	4	玉髄	2.15	1.5	0.3	1	8類
631	73	打製石鏃	F	4	黒曜石(桑ノ木津留)	(1.4)	(1.15)	0.3	(0.4)	9類　先端・右脚部欠損
632	90	打製石鏃	E	4	黒曜石(針尾)	(1.15)	(0.95)	0.35	(0.3)	9類　両脚部欠損
633	52	打製石鏃	B	3	黒曜石(姫島)	1.6	1.25	0.3	0.5	9類　右脚部欠損
634	47	打製石鏃	B	3	黒曜石(姫島)	1.3	1.5	0.25	0.3	9類
635	95	打製石鏃	B	3	黒曜石(姫島)	1.15	(1.2)	0.2	(0.2)	9類　右脚部欠損
636	83	打製石鏃	G	3	黒曜石(西北九州)	(1.8)	(1.3)	0.3	(0.5)	9類　先端・両脚部欠損
637	96	打製石鏃	A	4	黒曜石(西北九州)	(1.85)	(1.3)	0.35	(0.6)	9類　両脚部欠損

■ 原産地推定結果有り　(　) の値は残存値を示す

第11表　縄文時代早期遺物包含層出土石器計測分類表③

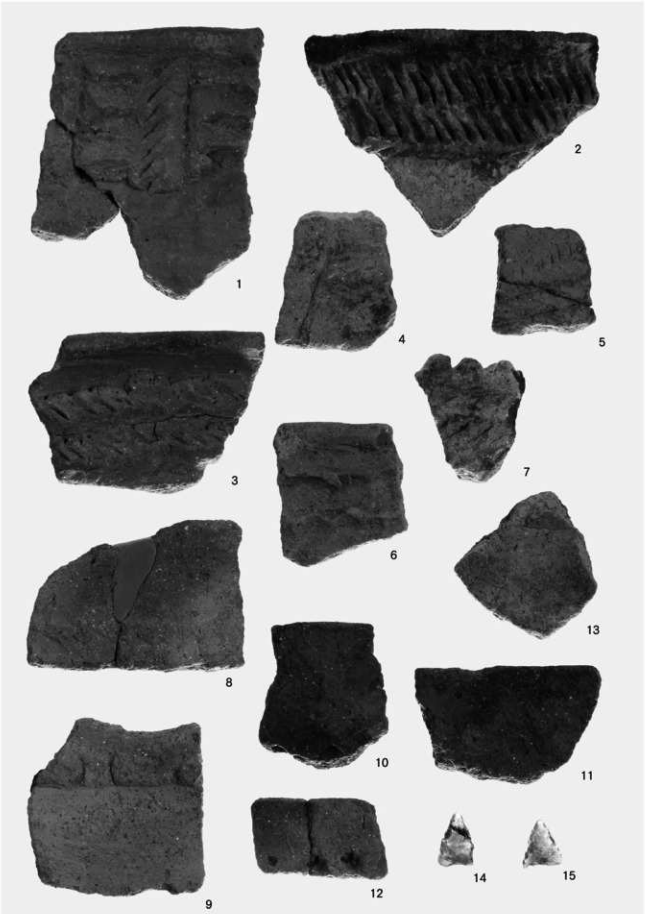
報告書 No.	実測 No.	器種	出土 グリット	層位	石材	長 (cm)	幅 (cm)	幅 (cm)	重 (g)	備考
638	46	打製石鏃	A	3	黒曜石(西北九州)	1.6	1.35	0.25	0.3	**9類**
639	51	打製石鏃	B	3	黒曜石(西北九州)	2	(1.9)	0.25	(0.6)	9類　右脚部欠損
640	92	打製石鏃	B	3	**黒曜石(針尾)**	1.8	(1.35)	0.3	(0.4)	9類　右脚部欠損
641	138	打製石鏃	B	3	黒曜石(西北九州)	(1.7)	(1.3)	0.3	(0.4)	**9類　両脚部欠損**
642	44	打製石鏃	B	3	**安山岩**	(2.1)	1.6	0.35	(0.9)	10類　先端部欠損
643	91	打製石鏃	E	4	チャート	(2.25)	(1.5)	0.3	(0.8)	**10類　両脚部欠損**
644	101	打製石鏃	F	4	チャート	2.5	(1.7)	(0.55)	(1.5)	10類　左脚部欠損
645	49	打製石鏃	E	4	チャート	2.35	(1.65)	0.4	(1.4)	11類　右脚部欠損
646	40	打製石鏃	E	4	チャート	3.3	(1.95)	0.5	(2.1)	11類　左脚部欠損
647	122	打製石鏃	F	4	チャート	2.6	(1.8)	0.5	(2)	11類　右脚部欠損
648	125	打製石鏃	B	4	**黒曜石(針尾)**	2.3	(1.6)	0.4	(1.1)	**11類　右側・右脚部欠損**
649	126	打製石鏃	F	4	チャート	(2.75)	1.7	0.6	(2.8)	**12類　先端・左脚部欠損**
650	72	打製石鏃	E	4	チャート	1.8	1.8	0.55	1.4	**12類**
651	87	打製石鏃	E	4	チャート	(3.1)	(1.85)	0.55	(2.3)	**12類　先端・右脚部欠損**
652	35	打製石鏃	G	3	チャート	2.25	1.3	0.45	1.2	**12類**
653	37	打製石鏃	D	4	チャート	2.35	(1.45)	0.25	(0.7)	12類　右脚部欠損
654	74	打製石鏃	C	4	**流紋岩**	2.15	1.55	0.5	1.3	**12類**
655	38	打製石鏃	F	4	黒曜石(姫島)	(1.4)	1.7	0.25	(0.5)	12類　先端部欠損
656	71	打製石鏃	H	3	黒曜石(姫島)	2.35	1.9	0.3	1	**12類**
657	115	打製石鏃	I	3	黒曜石(姫島)	2.2	1.8	0.4	1	**12類**
658	100	打製石鏃	D	4	黒曜石(西北九州)	2.15	(1.5)	0.45	(1)	**12類　右脚部欠損**
659	135	打製石鏃	G	3	黒曜石(西北九州)	1.4	1.75	0.45	0.7	**12類**
660	55	打製石鏃	D	4	**砂岩**	2	1.6	0.3	0.8	**12類**
661	99	打製石鏃	G	4	チャート	(1.9)	(1.5)	0.4	(0.8)	13類　左脚部欠損
662	41	打製石鏃	E	4	チャート	(1.9)	(1.15)	0.4	(0.8)	**13類　両脚部欠損**
663	43	打製石鏃	B	3	黒曜石(姫島)	(1.45)	(1.3)	0.4	(0.4)	**13類　両脚部欠損**
664	61	打製石鏃	F	4	黒曜石(姫島)	(2.45)	(1.45)	0.4	(0.9)	**13類　両脚部欠損**
665	140	石鏃未製品	E	4	チャート	2.1	1.6	0.6	1.9	
666	148	石鏃未製品	B	4	チャート	3.45	2.6	0.7	7	
667	146	石鏃未製品	B	4	チャート	3.7	2.7	1.2	11.4	
668	144	石鏃未製品	G	4	チャート	3.5	2.4	0.75	7.9	
669	132	石鏃未製品	A	3	**流紋岩**	3.95	3.1	1.1	11.1	
670	152	石鏃未製品	F	4	チャート	2.9	1.85	0.6	3.8	
671	145	石鏃未製品	A	4	**頁岩**	3.3	2.6	0.85	6.8	
672	149	石鏃未製品	C	4	**頁岩**	3.75	3.3	0.8	10	
673	150	石鏃未製品	F	4	**頁岩**	2.7	2.35	0.95	5.1	
674	147	石鏃未製品	F	4	**頁岩**	(2.5)	(1.6)	0.45	(1.6)	先端部欠損
675	143	石鏃未製品	F	4	**頁岩**	2.45	2.85	0.85	5.9	
676	142	石鏃未製品	F	4	**黒曜石(桑ノ木津留)**	(1.2)	(1.15)	0.25	(0.3)	**先端・右脚部欠損**
677	137	石鏃未製品	B	4	**黒曜石(桑ノ木津留)**	(1.95)	(1.4)	0.65	(1.6)	先端・側面部欠損
678	151	石鏃未製品	B	3	**黒曜石(針尾)**	2.3	1.85	0.9	3.5	
679	113	石鏃未製品	F	4	**黒曜石(腰岳)**	2.65	(1.65)	0.9	(2.4)	右脚部欠損
680	118	石鏃未製品	E	3	**黒曜石(腰岳)**	1.8	1.3	0.5	1.2	
681	120	石鏃未製品	E	3	黒曜石(西北九州)	1.8	(1.6)	0.5	(1)	左脚部欠損
682	153	石鏃未製品	A	4	**安山岩**	2.95	2.3	0.6	4.9	
683	141	石鏃未製品	I	4	**砂岩**	3.5	2.45	0.7	6.5	
684	164	尖頭状石器	C	4	**頁岩**	5.1	3.25	1.35	15.9	
685	162	尖頭器	G	3	黒曜石(西北九州)	4.75	1.15	0.6	2.4	
686	155	異形石器	F	4	**チャート**	1.65	2.4	0.4	0.9	
687	128	異形石器	E	4	**チャート**	1.2	1.8	0.3	0.6	
688	154	異形石器	E	4	**チャート**	2.85	1.7	0.4	2	
689	86	異形石器	E	4	**チャート**	(1.5)	1.9	0.35	(0.7)	先端部欠損
690	156	異形石器	B	4	黒曜石(姫島)	2.6	1.85	0.65	2.1	

原産地推定結果有り　(　)の値は残存値を示す

第12表　縄文時代早期遺物包含層出土石器計測分類表④

報告書No.	実測No.	器種	出土グリット	層位	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
691	108	異形石器	B	3	黒曜石(針尾)	1.7	1.8	0.35	0.7	
692	157	異形石器	E	4	安山岩	(3.65)	(1.4)	(0.35)	(1.4)	
693	158	石錐	E	4	チャート	2.75	2.45	0.55	3.2	
694	161	石錐	C	4	流紋岩	(2.85)	2.4	0.75	(4)	先端部欠損
695	159	石錐	E	4	黒曜石(針尾)	(2.4)	1.6	0.5	(1.3)	先端部欠損
696	160	石錐	H	4	安山岩	(2.25)	1.65	1	(2.6)	先端部欠損
697	163	石匙	F	4	チャート	3.4	8	0.95	20.6	
698	173	スクレイパー	I	4	頁岩	3.8	2.7	0.75	8.6	
699	175	スクレイパー	C	4	頁岩	3.75	2.75	1.1	11.6	
700	176	スクレイパー	F	4	頁岩	7.1	3.6	1.3	25.3	
701	167	スクレイパー	D	4	頁岩	6.75	4.45	1.65	40.2	
702	172	スクレイパー	E	4	頁岩	7.2	4.8	1.75	54.6	
703	168	スクレイパー	G	3	頁岩	4.75	3.9	1.45	28.3	
704	166	スクレイパー	F	4	チャート	4.4	2.05	1.3	12.1	
705	174	スクレイパー	F	3	砂岩	6.85	5.5	2.05	74.4	
706	171	スクレイパー	D	3	砂岩	11.85	7.35	2.65	163.8	
707	165	スクレイパー	C	4	砂岩	6.14	6.34	2.3	73.7	
708	170	スクレイパー	G	4	砂岩	4.3	6.9	1.35	39.7	
709	177	スクレイパー	A	4	頁岩	5.55	6.5	2	49.1	
710	169	スクレイパー	A	4	砂岩	5.5	8	2.2	67.2	
711	209	礫器	B	3	砂岩	10.8	15.95	4.25	895	
712	178	礫器	D	4	砂岩	6	7.6	3.1	142.6	
713	208	礫器	F	4	砂岩	10	15.8	2.8	612	
714	207	礫器	A	3	頁岩	(4.3)	(11.9)	(2.4)	(130.9)	
715	179	石斧	B	3	ホルンフェルス	8.45	6.8	1.95	162	
716	183	石斧	E	4	ホルンフェルス	4.8	3.8	1.4	30.7	
717	181	石斧	F	4	ホルンフェルス	8.5	4.2	1.4	84.1	
718	210	石斧	F	4	頁岩	13.25	5.3	2.85	158.2	
719	180	石斧	F	4	緑色堆積岩	8.85	3.7	1.65	82.4	
720	182	石斧	F	4	頁岩	5.45	4.5	1.9	53.5	
721	25	環状石斧	F	4	砂岩	7.6	7.4	1.6	116.4	
722	197	剥片	F	4	尾鈴山酸性岩	6.9	6.75	1.5	89.5	
723	199	剥片	D	4	尾鈴山酸性岩	2.6	3.35	0.7	5.9	
724	198	石核	G	4	水晶	2.44	1.58	1.24	4.7	
725	211	石核	D	4	チャート	10.35	9.75	5.25	495	
726	212	石核	B	3	砂岩	9.75	9.85	5.1	595	
727	185	敲石	F	4	砂岩	9.95	7.6	7.35	850	
728	189	敲石	I	4	砂岩	8.1	7.7	4.3	366	
729	184	敲石	C	3	砂岩	10.4	9.3	4.6	580	
730	187	敲石	D	4	砂岩	11.15	9.05	5.35	739	
731	186	敲石	H	4	砂岩	8.5	7	3.6	280	
732	188	敲石	A	3	砂岩	11.3	8.8	3	430	
733	192	敲石	C	4	頁岩	6.6	3.85	3.05	104.2	
734	191	敲石	E	5	砂岩	13.1	4.6	2	216	
735	193	敲石	B	4	砂岩	15.85	5.45	2.9	312	
736	190	敲石	D	4	尾鈴山酸性岩	9.3	7.3	3.9	354	
737	194	磨石	G	4	砂岩	10.85	9.35	4.8	678	
738	196	磨石	F	4	砂岩	12.1	9.3	5.1	848	
739	195	磨石	D	3	尾鈴山酸性岩	10.4	6.75	5.7	551	

原産地推定結果有り　(　)の値は残存値を示す



写真図版14　縄文時代草創期遺物包含層出土遺物

SI－17　〈8750±50〉
北より

SI－25　〈8750±50〉
南西より

SI－21　〈8720±40〉
南西より

写真図版15　縄文時代早期遺構①

SI－13　〈8710±40〉
南西より

SI－12　〈8660±50〉
北より

SI－18　〈8560±50〉
南西より

写真図版16　縄文時代早期遺構②

SI－31　〈8530±60〉
南より

SI－36　〈8520±40〉
SI－37　〈8240±50〉
南より

SI－1　〈7820±50〉
南より

写真図版17　縄文時代早期遺構③

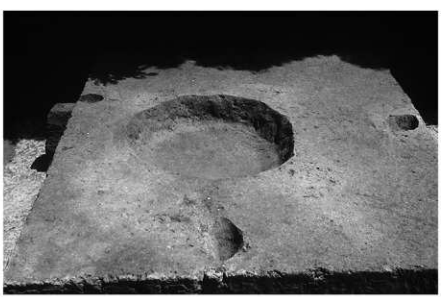
SC－3①　北東より

SC－3②　断面形状確認
東より

SC－8　南より

写真図版18　縄文時代早期遺構④

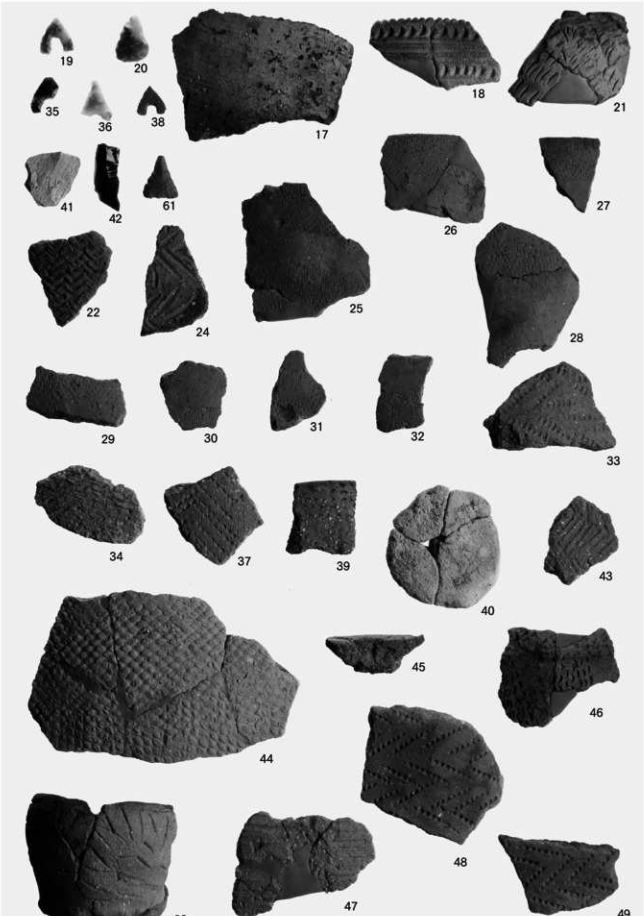
SC－4①　遺物出土状況
北より



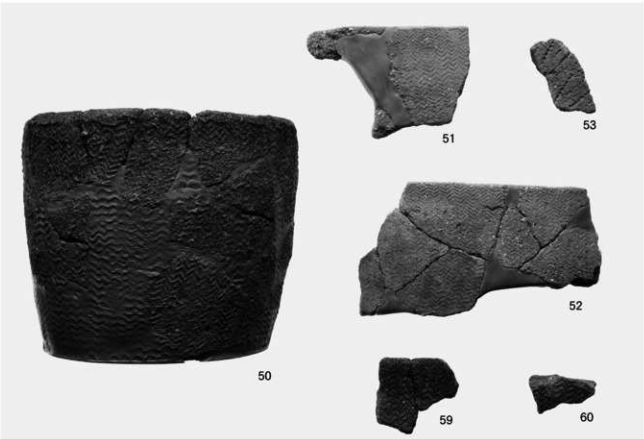
SC－4②　北より

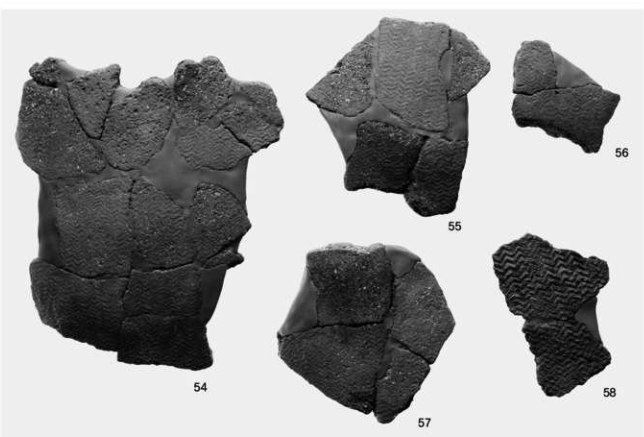
SC－4③　北より

写真図版19　縄文時代早期遺構⑤

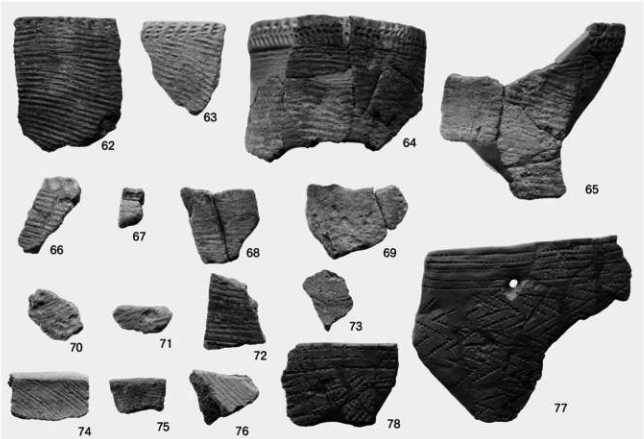


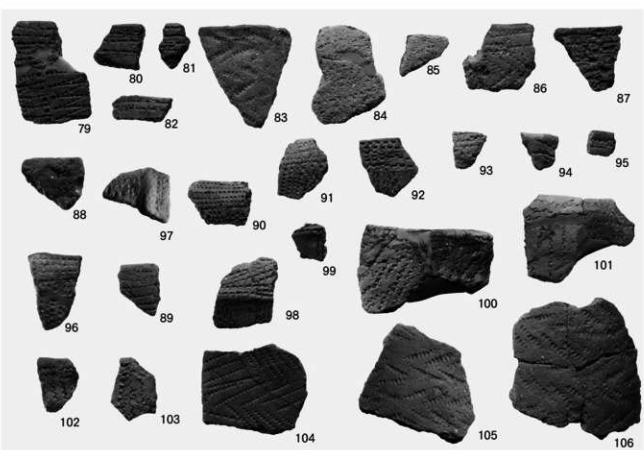
写真図版20　縄文時代早期遺構内出土遺物①



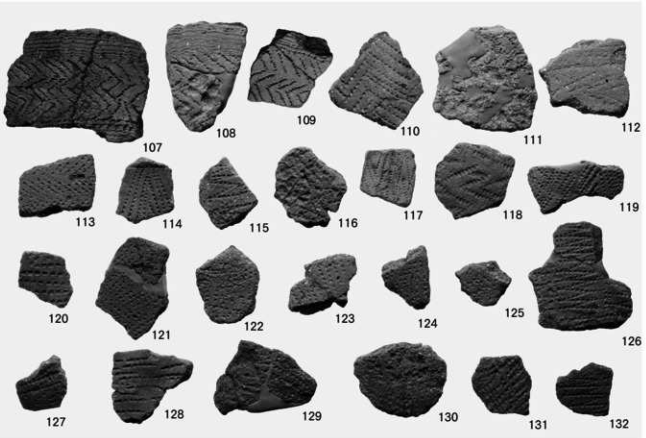


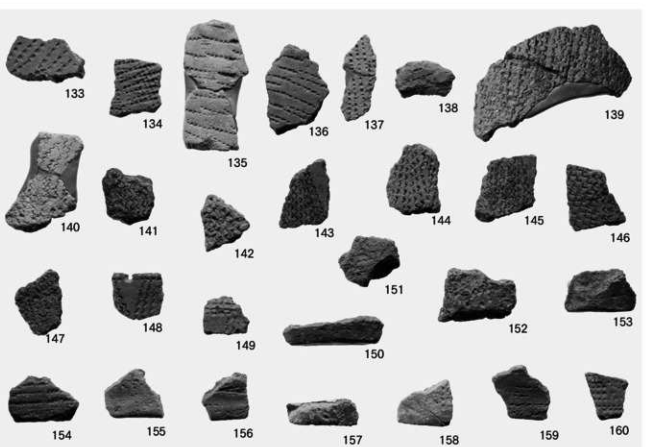
写真図版21　縄文時代早期遺構内出土遺物②



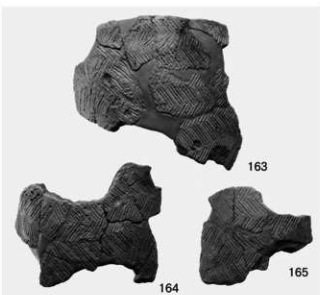


写真図版22　縄文時代早期遺物包含層出土土器①

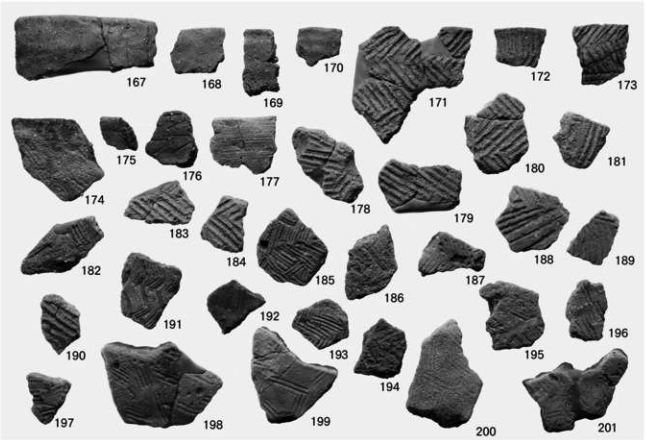


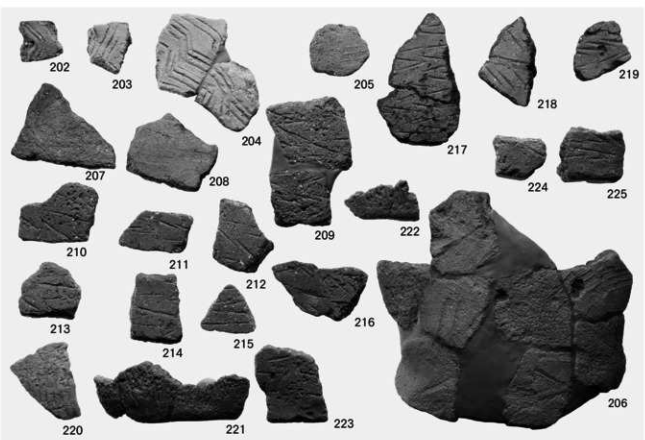


写真図版23　縄文時代早期遺物包含層出土土器②

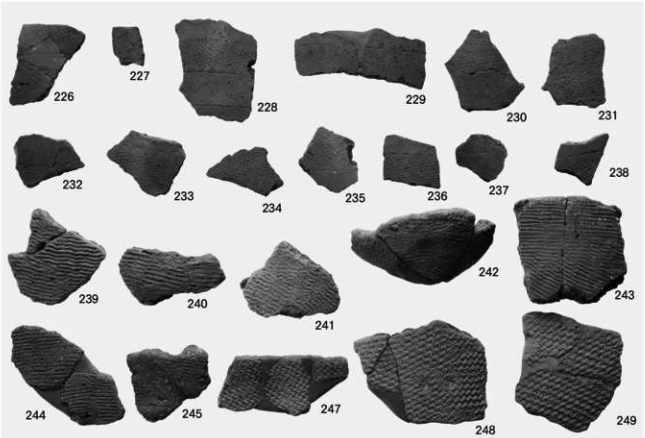


写真図版24　縄文時代早期遺物包含層出土土器③

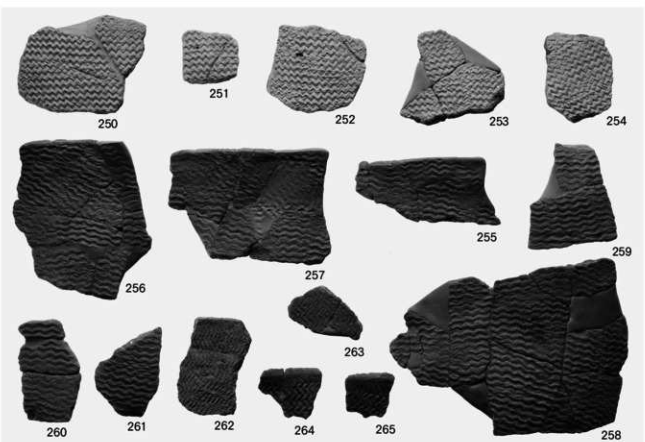




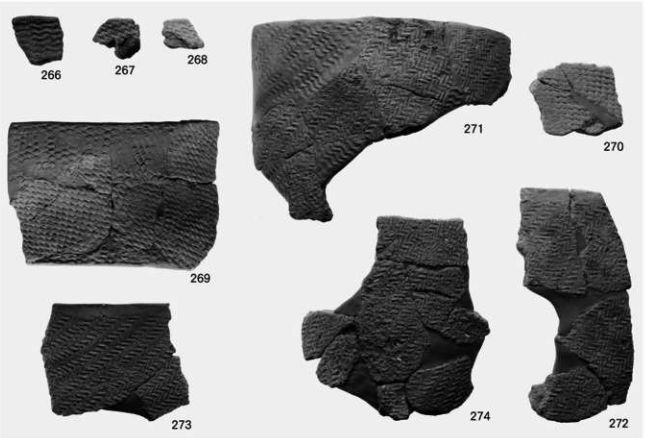
写真図版25　縄文時代早期遺物包含層出土土器④

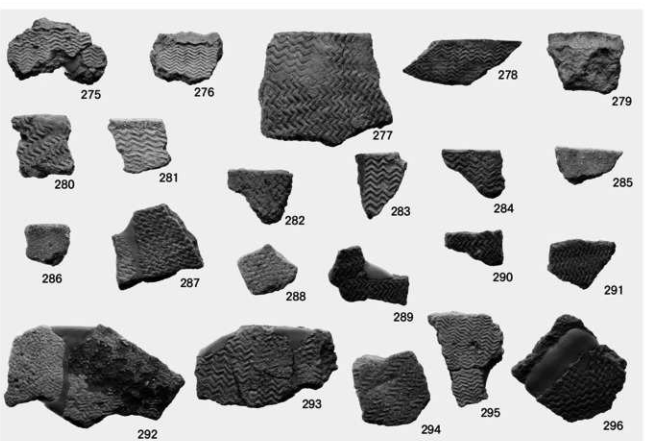


※No.246は巻頭カラー掲載

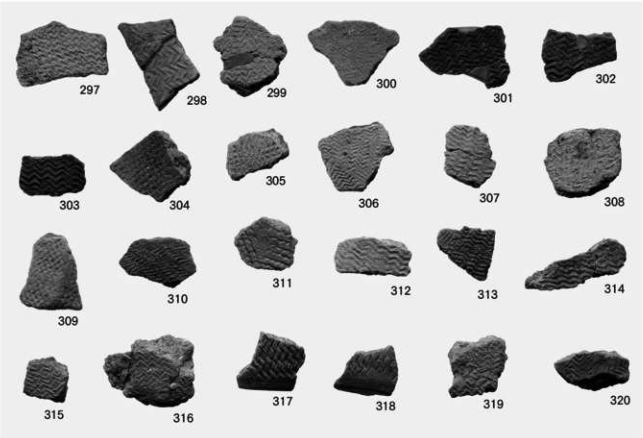


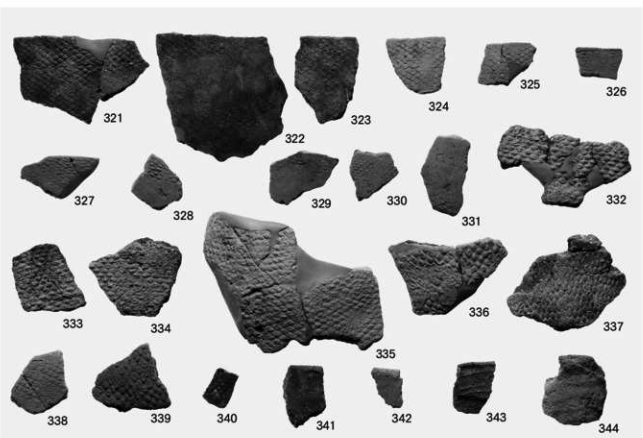
写真図版26　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑤



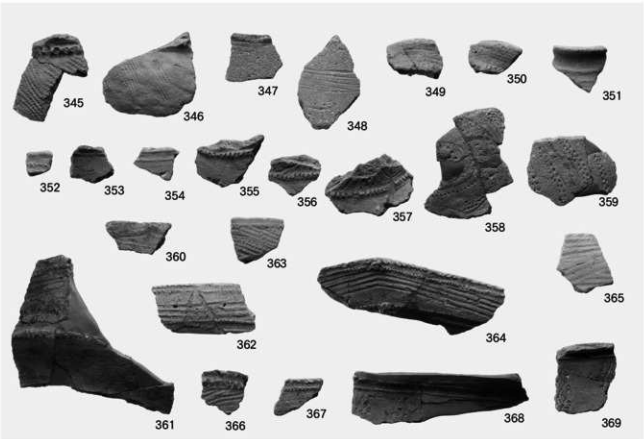


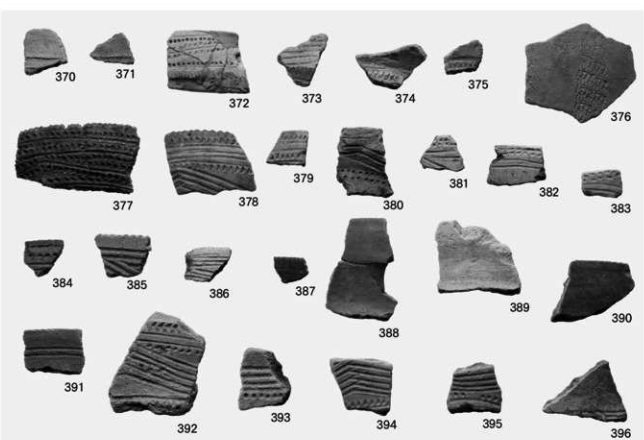
写真図版27　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑥



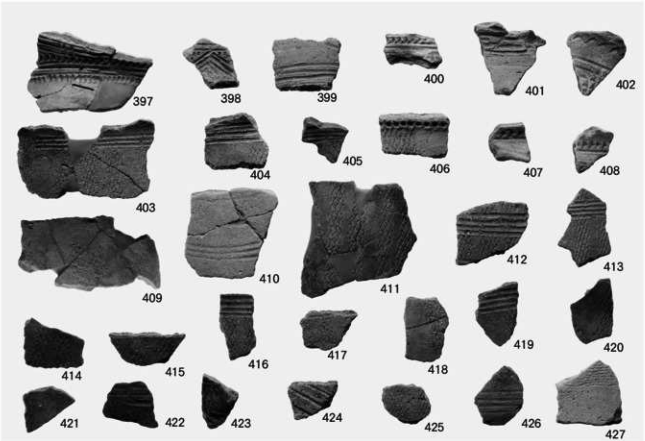


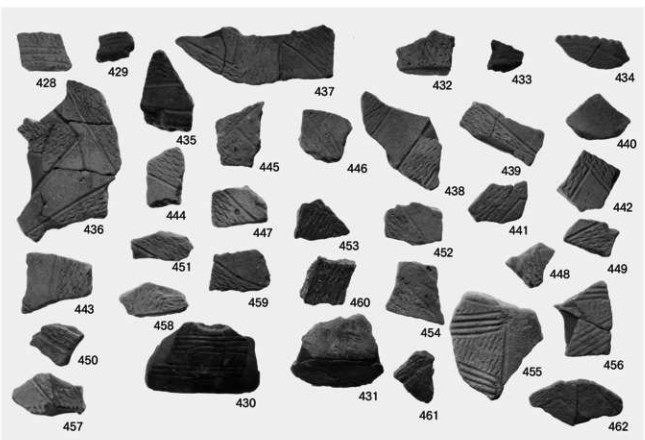
写真図版28　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑦



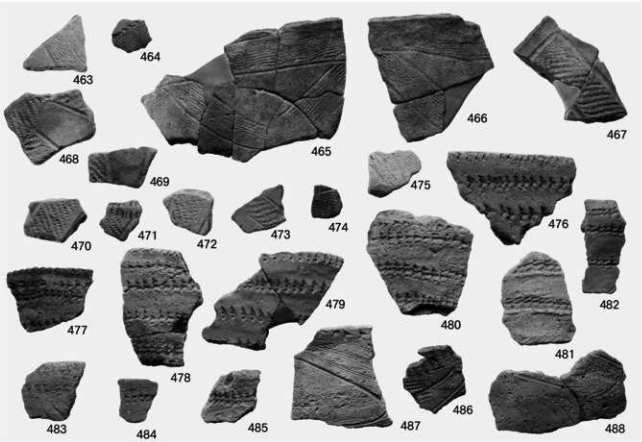


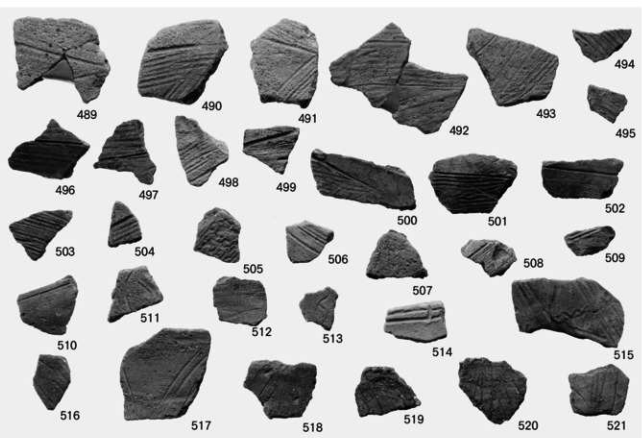
写真図版29　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑧



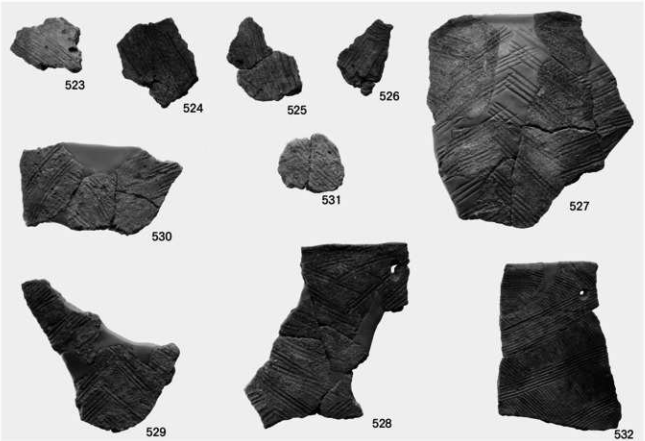


写真図版30　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑨

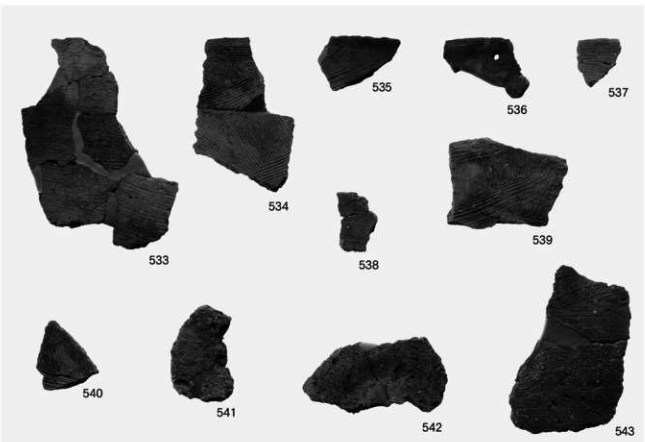




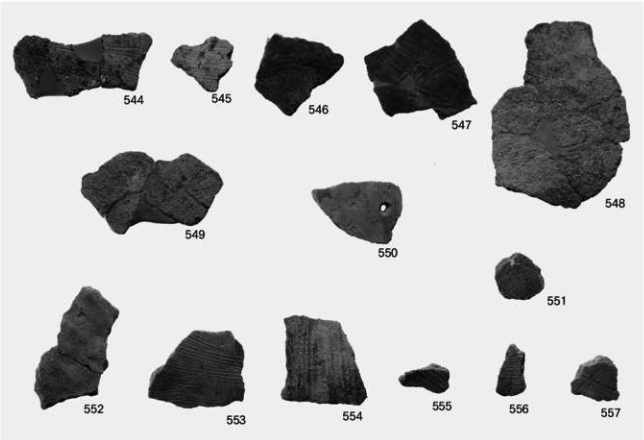
写真図版31　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑩



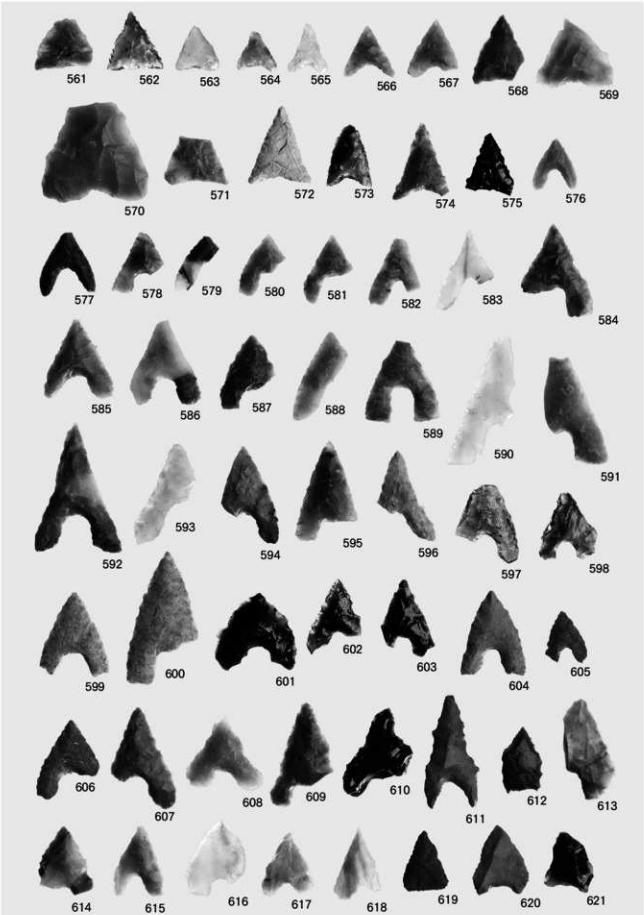
※No.522は巻頭カラー掲載



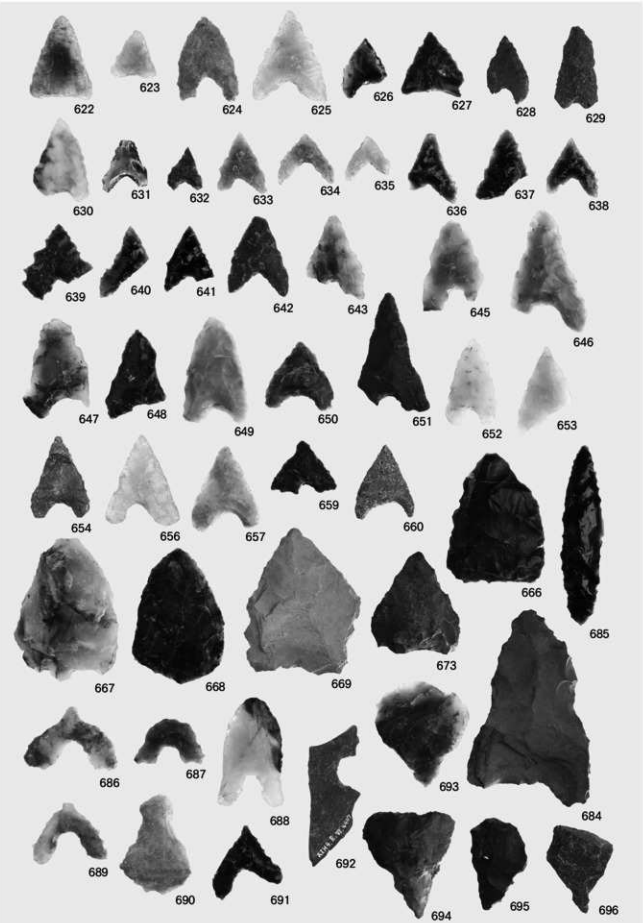
写真図版32　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑪



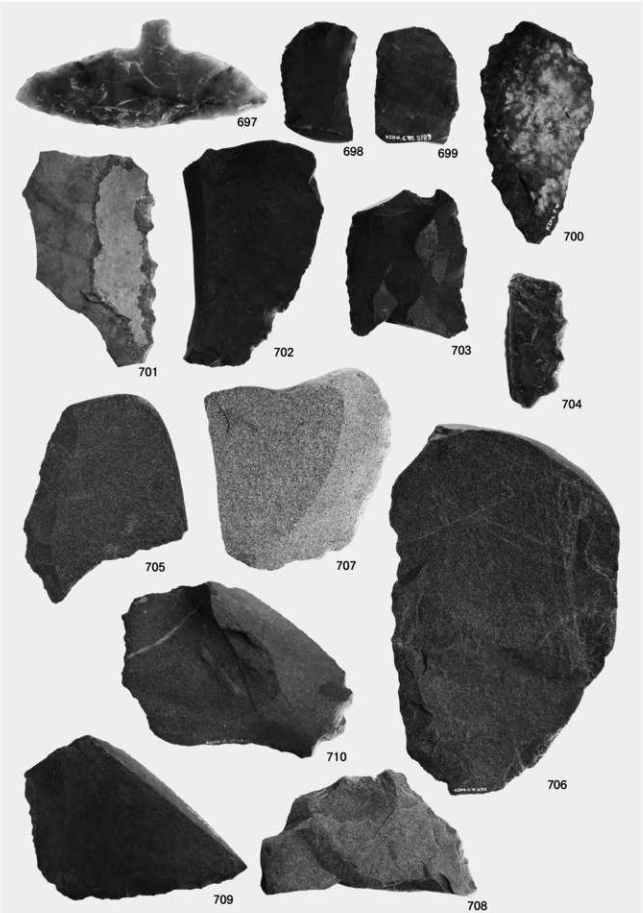
写真図版33　縄文時代早期遺物包含層出土土器⑫



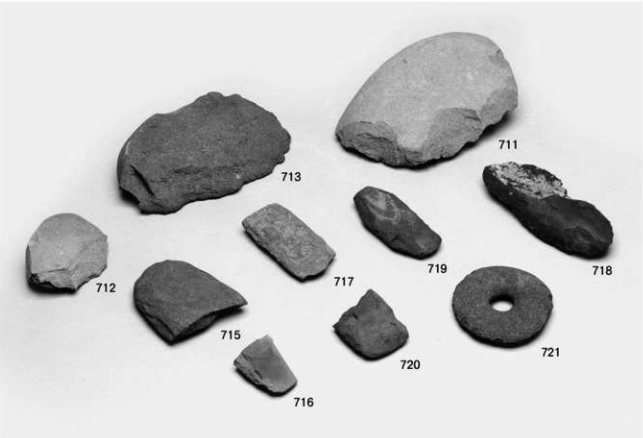
写真図版34　縄文時代早期遺物包含層出土石器①

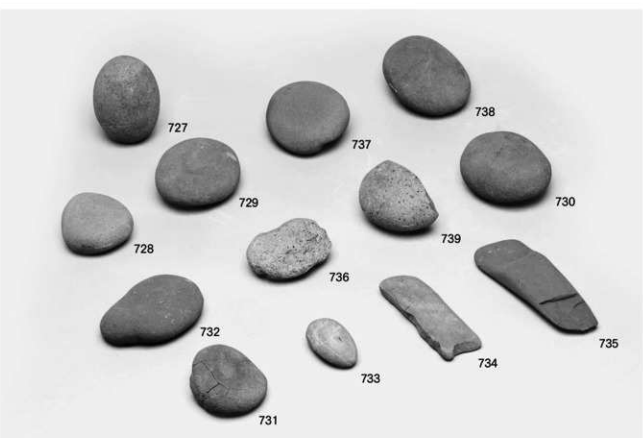


写真図版35　縄文時代早期遺物包含層出土石器②



写真図版36　縄文時代早期遺物包含層出土石器③





写真図版37　縄文時代早期遺物包含層出土石器④

第Ⅳ章　アカホヤ火山灰層上面の調査

第１節　遺構の検出状況

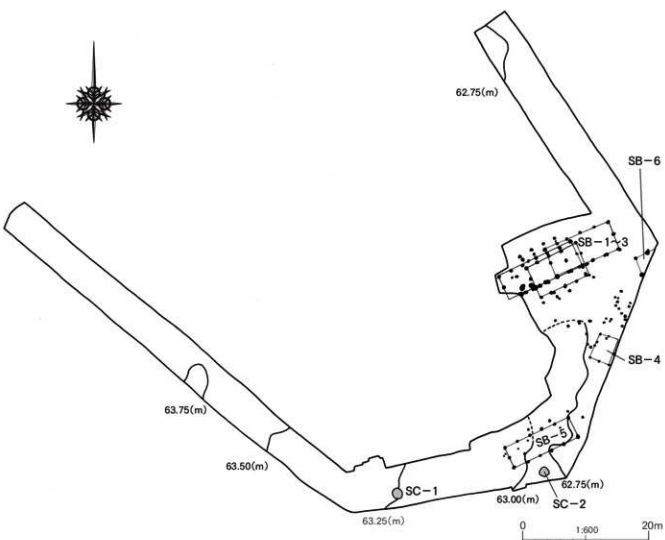
当遺跡においては、アカホヤ火山灰層残存範囲で、遺構の検出作業及び旧地形復元のための等高線作成作業を行った。結果、掘立柱建物跡６棟と土坑２基が検出されたが、掘立柱建物跡については、地元・開発業者の協力のもと本来の調査区を一部拡大し、より多くの情報収集に努めている。

１．掘立柱建物跡

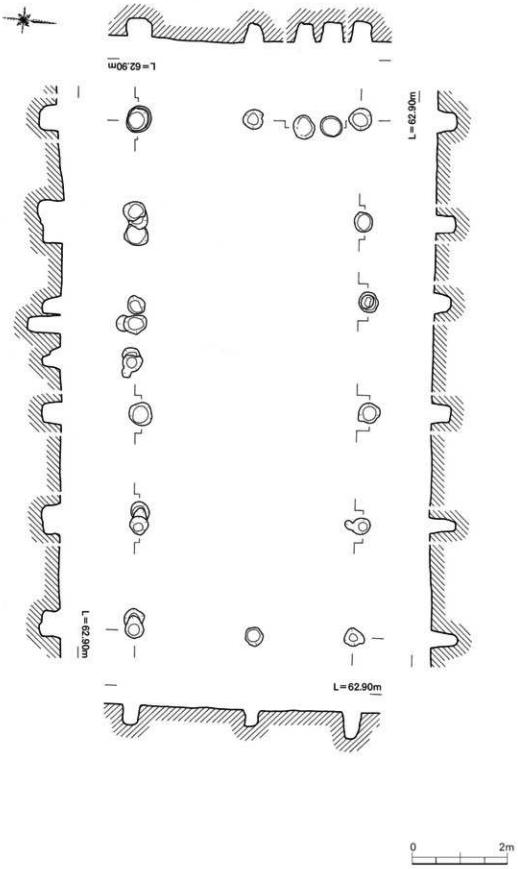
SB－１～SB－３、及びSB－５については、主軸の向きやその規模からみて、ほぼ同時期の建物跡だと推測される(互いの新旧関係や庇についての詳細は確認できていない)。SB－６については、建物跡北西隅のみが今回の調査において確認されたため、隣接する同遺跡第５地区の調査成果とあわせて今後報告したい。

SB－１

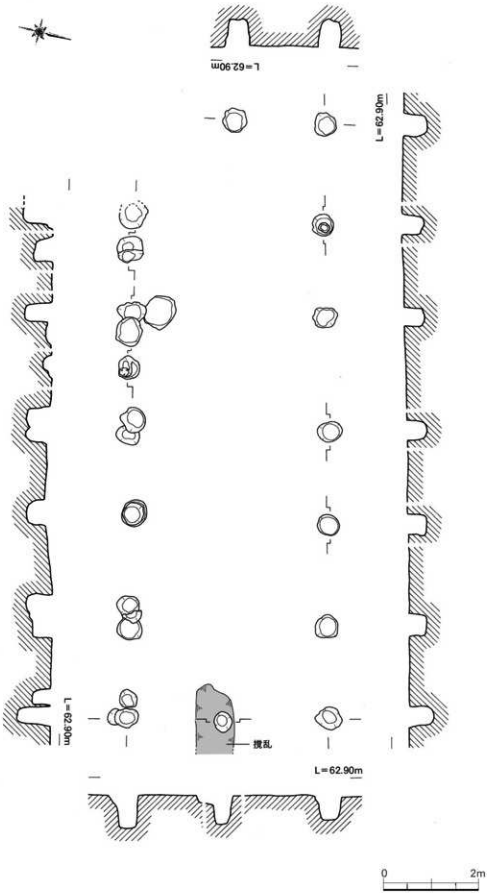
主軸がN－83°－Eの東西棟で、桁行５間(約11m)、梁行２間(約4.8m)で身舎の面積は52.8㎡を測る。柱穴の規模は検出面での直径が0.4～0.6mで、ほぼ円形を呈している。また、その埋土については、黒色シルト質ロームで、やや粘性があり、アカホヤ火山灰層の小ブロックや白色パミスを含んでいる。



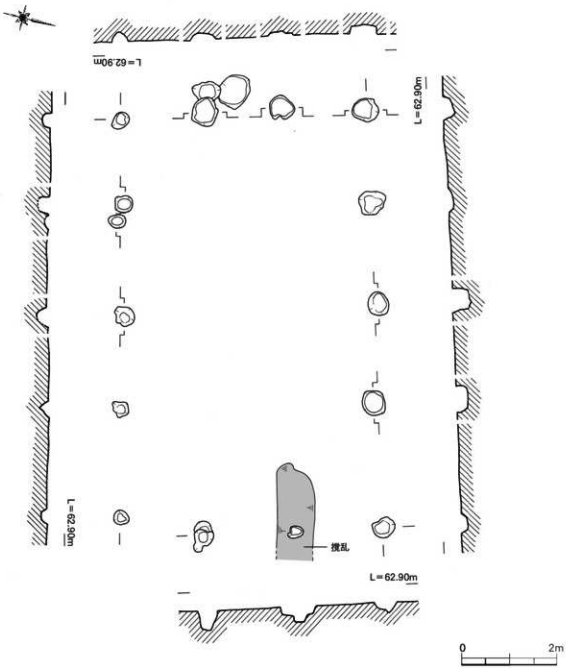
第85図　アカホヤ火山灰層上面遺構配置図　(S＝1/600)



第86図　SB－１実測図　（S＝1/80）



第87図　SB－２実測図　(S＝1/80)



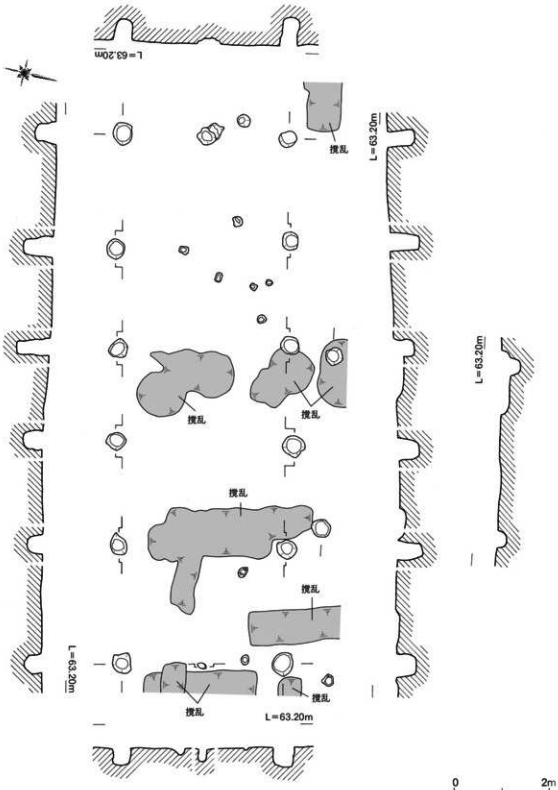
第88図　SB－３実測図　（S＝1/80）

SB－２

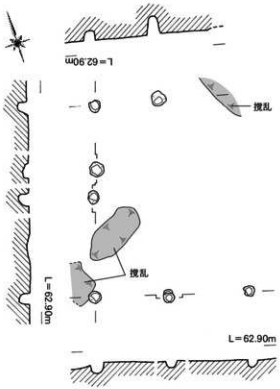
主軸がN－70°－Eの東西棟で、桁行６間(約12.6m)、梁行２間(約4.4m)で身舎の面積は55.44㎡を測る。柱穴の規模は検出面での直径が0.4～0.55mで、ほぼ円形を呈している。また、その埋土については、黒色シルト質ロームで、やや粘性があり、アカホヤ火山灰層の小ブロックや白色パミスを含んでいる。

SB－３

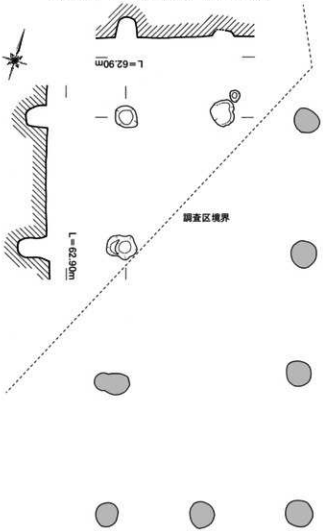
主軸がN－69°－Eの東西棟で、桁行４間(約９m)、梁行３間(約5.2m)で身舎の面積は46.8㎡を測る。柱穴の規模は検出面での直径が0.4～0.6mで、ほぼ円形を呈している。また、その埋土については、黒色シルト質ロームで、やや粘性があり、アカホヤ火山灰層の小ブロックや白色パミスを含んでいる。



第89図　SB－５実測図　(S＝1/80)



第90図　SB－４実測図　(S＝1/80)



第91図　SB－６実測図　(S＝1/80)

SB－４

建物東隅が調査区外であるため、一部確認できない部分があったものの、主軸がN－27°－Eの南北棟とした。身舎は桁行２間(約4.1m)、梁行３間(約3.6m)で、その面積は14.76㎡を測る。柱穴の規模は検出面での直径が0.2～0.3mで、ほぼ円形を呈している。また、その埋土については、黒色シルト質ロームで、アカホヤ火山灰層の小ブロックや白色パミスを含んでいる。

SB－５

主軸がN－70°－Eの東西棟で、桁行５間(約11.4m)、梁行２間(約3.5m)で身舎の面積は40㎡を測る。柱穴の規模は検出面での直径が0.35～0.55mで、ほぼ円形を呈している。また、その埋土については、黒色シルト質ロームで、やや粘性があり、アカホヤ火山灰層の小ブロックや白色パミスを含んでいる。

SB－６

桁行３間、梁行２間の南北棟の北西隅のみを確認した(詳細は同遺跡第５地区の報告にて)

２．掘立柱建物跡群柱穴出土遺物

SB－２、SB－５の柱穴から、古代末土師器等が出土している。

○土師器杯

１～６は杯である。１は底部からスムーズに立ち上がり外方に開き、法量は口径12.85cm、底径5.6cm、器高5.25cmである。２も１同様に底部からスムーズに立ち上がり外方に開く。法量は口径12.6cm、底径5.4cm、器高4.5cmである。

○円盤状高台付椀

７～11は円盤状高台付椀である。７は直線的に外側に開く器形で、高台端部は張り出している。法量は口径13.4cm、底径6.6cm、器高5.9cmである。

○黒色土器

14・15は黒色土器である。14については下部が残存していないため器種については不明である。15は輪高台付椀であるが、法量等は不明である。

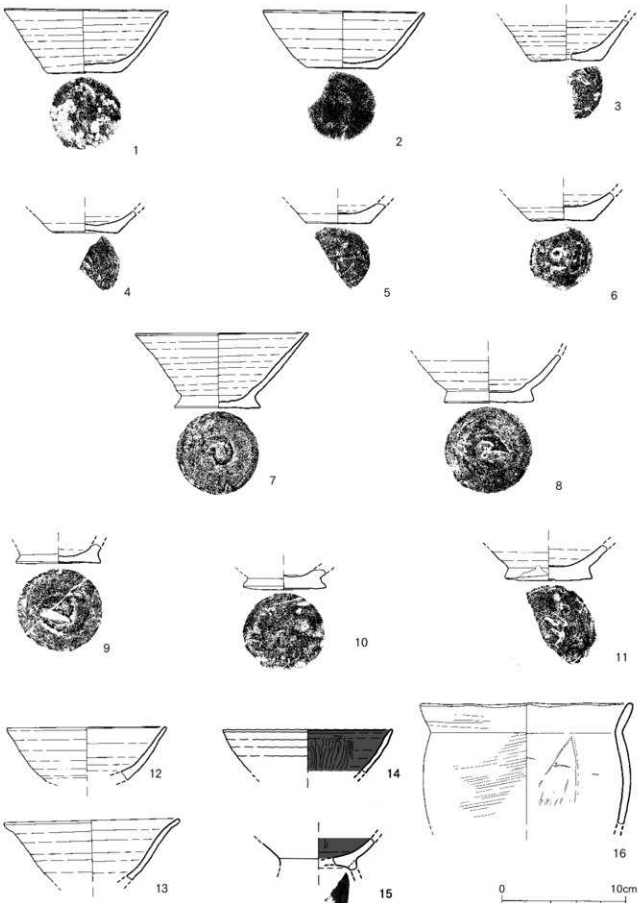
0　2m

第13表　掘立柱建物跡群柱穴出土遺物観察表

報告書No.	種類	器種	残存部位	法量(cm)			色調		調整		備考	実測No.
				口径	底径	器高	外面	内面	外面	内面		
1	土師器	坏	口縁～底部	(12.85)	5.6	5.25	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR6/3	口縁～体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し	回転ナデ (一部ミガキの様な痕跡有)		215
2	土師器	坏	口縁～底部	(12.6)	(5.4)	4.5	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/4	口縁～体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し後ナデ	回転ナデ	反転復元	214
3	土師器	坏	体～底部		(5.6)		にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい黄褐 10YR6/3	体部：回転ナデ 底部：ナデ	回転ナデ	反転復元	796
4	土師器	坏	体～底部		(5.4)		にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/4	体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し後ナデ	回転ナデ	反転復元	794
5	土師器	坏	体～底部		(5.2)		にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し後ナデ	回転ナデ	反転復元	790
6	土師器	坏	体～底部		4.8		にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し後ナデ	回転ナデ	反転復元	802
7	土師器	円盤状高台付椀	ほぼ完形	(13.4)	6.6	5.9	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR6/4	口縁～体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し	回転ナデ	反転復元	216
8	土師器	円盤状高台付椀	体～底部		6.5		橙 5YR6/6	にぶい橙 5YR6/4	体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し	回転ナデ (少し磨滅気味)	反転復元	213
9	土師器	円盤状高台付椀	体～底部		6.55		にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい橙 5YR6/4	体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し	回転ナデ	反転復元	795
10	土師器	円盤状高台付椀	体～底部		6.5		にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/3	体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し後ナデ	回転ナデ	反転復元	793
11	土師器	円盤状高台付椀	体～底部		(6.8)		にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい褐 7.5YR6/3	体部：回転ナデ 底部：回転ヘラ切り離し後ナデ	回転ナデ	反転復元	791
12	土師器	坏？椀？	口縁～体部	(12.6)			にぶい橙 5YR6/4	にぶい赤褐 5YR5/4	回転ナデ	回転ナデ	反転復元	801
13	土師器	坏？椀？	口縁～底部付近	(13.6)			にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 5YR6/4	回転ナデ	回転ナデ	反転復元 スス付着	792
14	黒色土器	不明	口縁～体部	(13.3)			にぶい橙 7.5YR6/4	暗灰 N3/0	回転ナデ	回転ナデ後ミガキ	反転復元	800
15	黒色土器	輪高台付椀	体～底部				にぶい橙 7.5YR6/4	灰 N4	体部：回転ナデ 底部：回転ナデ	回転ナデ後ミガキ	反転復元	799
16	土師器	甕	口縁～体部	(16.6)			にぶい橙 5YR6/4	にぶい赤褐 5YR5/3	ハケ目	丁寧なナデ	スス付着	789

(　　)は復元径の値を示す

写真図版38　掘立柱建物跡群柱穴出土遺物



第92図　掘立柱建物跡群柱穴出土遺物実測図　(S＝1/3)

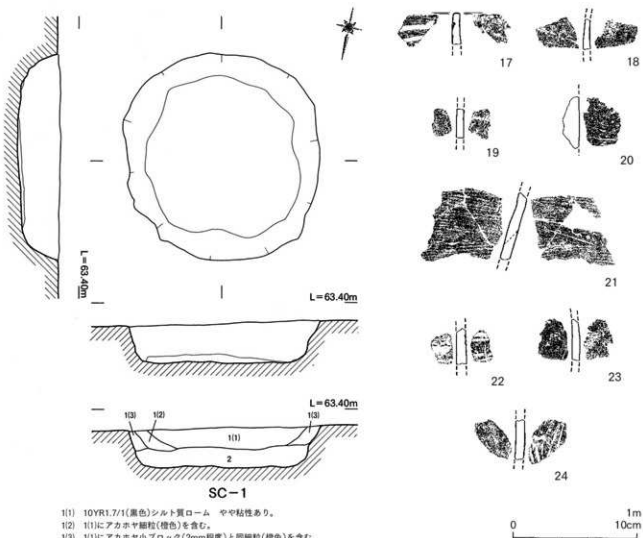
3．土坑

SC－1

アカホヤ火山灰層上面で検出された。平面プランは直径約1.6mの円形で、底面は直径約1.2mの円形を呈する。検出面からの深さは約0.3mで、4層上位までを掘り込んでいる状況である。用途については不明だが、埋土からは縄文時代前期から中期の土器片等(17～24)が出土している。

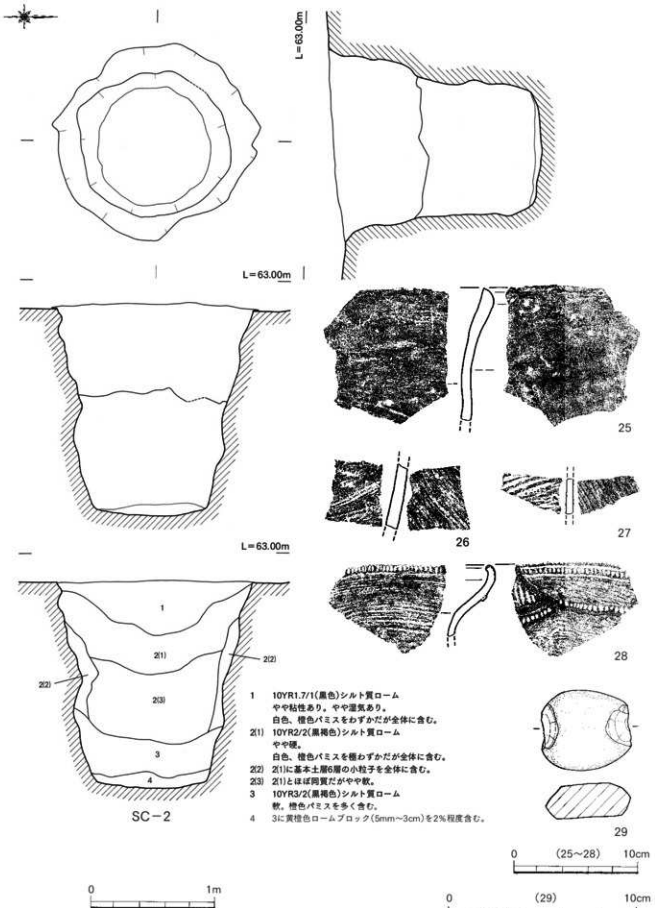
SC－2

アカホヤ火山灰層上面で検出された。平面プランは直径約1.6mの円形で、底面は直径約0.9mの円形を呈する。検出面からの深さは約1.7mで、霧島・小林軽石層において若干ではあるが窄まりをみせる。その形状から、陥し穴状遺構の可能性を視野に入れて調査を行ったが逆茂木等は確認されず、また貯蔵に関する遺構であったことも推測されるが、用途については不明である。尚、埋土中からは縄文時代前期から中期にかけての土器片(25～28)が出土しており、28は春日式土器の口縁部片である。また砂岩製の石錘(29)も1点出土している。

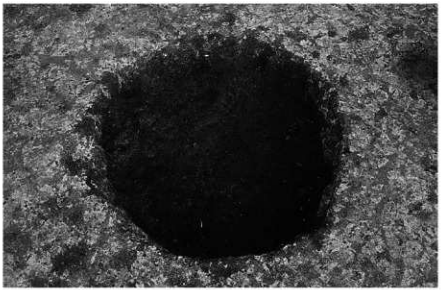


1(1)　10YR1.7/1(黒色)シルト質ローム　やや粘性あり。
1(2)　1(1)にアカホヤ細粒(橙色)を含む。
1(3)　1(1)にアカホヤ小ブロック(2mm程度)と同細粒(橙色)を含む。
2　2.5Y3/2(黒褐色)シルト質ローム　やや硬、基本土層5層に似ている。

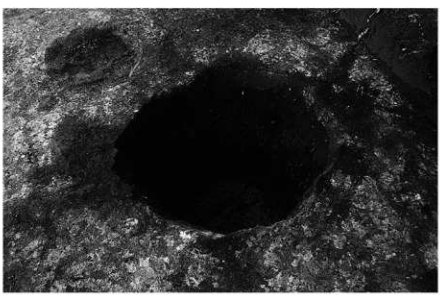
第93図　アカホヤ火山灰層上面土坑実測図①(S＝1/30)及び遺物実測図①(S＝1/3)



第94図　アカホヤ火山灰層上面土坑実測図②(S＝1/30)及び遺物実測図②(S＝1/3・S＝1/2)



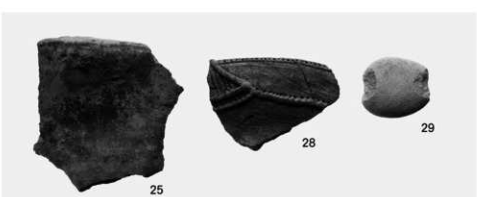
SC－1　完掘(北より)



SC－2　完掘(西より)

21

SC－1　出土遺物



25　28　29

SC－2　出土遺物

写真図版39　アカホヤ火山灰層上面検出遺構及び出土遺物

第Ⅴ章　まとめ

本調査区は道路幅という限られた調査範囲であったが、旧石器時代から古代までの多くの遺構・遺物が検出され、いくつかの特徴的な調査成果が挙げられている。

1．ナイフ形石器文化期の第１文化層と第２文化層の位置づけ

本調査区においてナイフ形石器文化期については二つの文化層が確認された。その各々の文化層について考察を試みる。ブロック１を中心とする第１文化層の石器組成は狸谷型ナイフ形石器・一側縁加工のナイフ形石器・掻器・錐状石器である。狸谷型ナイフ形石器は隣接する清武上猪ノ原遺跡第５地区で本調査区と同じようにシラスの直上の層から掻器と台形様石器と共伴して出土している。つまり第５地区のシラスの直上の層から出土した石器群の広がりが本調査区まで及んでいることと理解することができる。

次にブロック２を中心とする第２文化層の石器組成をみてみると小型の二側縁加工のナイフ形石器及び縦長剥片を素材とする一側縁加工・部分加工のナイフ形石器という状況である。同様の石器組成を示す石器群を船引地区遺跡群の中で探してみると坂元遺跡のナイフ形石器文化期の文化層に同じ様相の石器組成が確認される。坂元遺跡のAブロックからは縦長剥片を素材とする一側縁加工・部分加工のナイフ形石器が出土しており、Bブロックからは小型の二側縁加工のナイフ形石器が出土している。このほかに坂元遺跡では基部の抉りのない切り出し型のナイフ形石器や角錐状石器が出土しているが、本調査区ではそれらは出土していない。

宮崎県旧石器時代10段階編年によると坂元遺跡の石器群は５段階に位置する石器群と位置づけられており、第２文化層の石器群も同様の時期のものとして理解することができる。それより下層から出土している第１文化層の石器群についてはそれよりも古い時期のものと考えられるが、第４段階の石器群の特徴である縦長剥片を素材とする平面形が柳葉形や三角形の二側縁加工のナイフ形石器は出土しておらず、第４段階までさかのぼる石器群とは異なるものと考えられる。第５段階の石器群については複数の時期に細分できる可能性も指摘されており、本調査区のナイフ形石器文化期の二つの文化層の石器群については第５段階の中での古相と新相を示していると理解しておくことができるだろう。

2．縄文時代早期の遺物包含層における土器と石器の分布状況について

縄文時代早期の遺物包含層からは早期前葉～末葉までの土器が出土している。しかし、より細かく土器の分布を確認すると、調査区の中央付近からやや西側の集石遺構が密集する箇所から東側には貝殻文土器や押型文土器の分布が顕著であり、一方西側では塞ノ神式土器や条痕文土器の分布のほうが顕著となっていることがわかる。

次に早期の遺物包含層から出土する主要石器の分布を確認してみると、姫島産黒曜石製の石器の分布が概ね塞ノ神式土器・条痕文土器の分布状況と重なるようである。これらが遺物包含層の堆積するときに同時期に埋没した遺物と考えると姫島産黒曜石製の石器の使用時期が塞ノ神式土器～条痕文土器の時期にあたるということができるだろう。縄文早期の遺物包含層で本調査区と同じような遺物の分布状況を示す遺跡として同台地上の滑川第２遺跡や下猪ノ原遺跡第二地区が挙げられる。

また、桑ノ木津留産黒曜石製の石器は姫島産黒曜石製の石器と分布が離れるような傾向が見受けられる。調査区の中央付近に桑ノ木津留産黒曜石製の石器の分布が顕著であり、貝殻文土器や押型文土器と平面分布が重なるように見える。おおまかに早期前葉から中葉に桑ノ木津留産黒曜石の使用が顕著であり、後葉から末葉にかけて姫島産黒曜石の使用頻度が増していくような仮説が船引地区遺跡群の調査成果から垣間見えるのではないだろうか。このように本調査区からは縄文時代早期の南九州における黒曜石の利用状況についての検討材料となるような調査成果を得ることができた。

3．清武上猪ノ原遺跡第５地区との関連について

本調査区は縄文草創期の集落跡が検出された清武上猪ノ原遺跡第５地区と完全に接している。草創期の集落跡の報告も大きな課題であるが、第４地区の調査成果と関連した課題もある。以下にそれらを列挙する。

第４地区の旧石器時代第１文化層の石器群の広がりを確認すること。第４地区と合わせて桑ノ木津留産黒曜石Ｂ類製石器の分布状況を確認すること。縄文早期の遺物の分布状況を第４地区と合わせて検討すること。第４地区では検出されなかった炉穴と集石遺構の分布状況を把握すること。掘立柱建物跡等の古代の遺構配置を第４地区と合わせて検討すること。他にも課題があるが、まずこれらを解消することを目標に整理作業に望みたい。

Ⅰ．清武上猪ノ原遺跡第４地区についての自然科学分析

株式会社 古環境研究所

１．放射性炭素年代測定

(1) 試料と方法

試料名	地区	遺構	種類	前処理・調整	測定法
No.1	第4地区	S1－1	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.2	第4地区	S1－12	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.3	第4地区	S1－13	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.4	第4地区	S1－17	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.5	第4地区	S1－18	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.6	第4地区	S1－23	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.7	第4地区	S1－25	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.8	第4地区	S1－27	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.9	第4地区	S1－28	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.10	第4地区	S1－30	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.11	第4地区	S1－31	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.12	第4地区	S1－34	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.13	第4地区	S1－37	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.14	第4地区	SC－3	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS
No.15	第4地区	SC－4	炭化材	酸－ｱﾙｶﾘ－酸洗浄，石墨調整	AMS

（2） 測定結果

試料名	測定 No. (Beta－)	^{14}C 年代 (年 BP)	δ ^{13}C (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年 BP)	暦年代（西暦） (1σ：68%確率，2σ：95%確率)
No．1	213814	7830±50	−25.8	7820±50	交点：cal BC 6650 1σ：cal BC 6680 ～ 6600 2σ：cal BC 6760 ～ 6500
No．2	213815	8690±50	−27.0	8660±50	交点：cal BC 7610 1σ：cal BC 7730 ～ 7600 2σ：cal BC 7780 ～ 7580
No．3	213816	8720±50	−25.8	8710±50	交点：cal BC 7730 1σ：cal BC 7780 ～ 7610 2σ：cal BC 7940 ～ 7600
No．4	213817	8760±50	−25.7	8750±50	交点：cal BC 7770 1σ：cal BC 7930 ～ 7720 2σ：cal BC 7970 ～ 7610
No．5	213818	8570±50	−25.6	8560±50	交点：cal BC 7580 1σ：cal BC 7600 ～ 7570 2σ：cal BC 7610 ～ 7540
No．6	213820	8630±50	−26.4	8610±50	交点：cal BC 7600 1σ：cal BC 7610 ～ 7580 2σ：cal BC 7730 ～ 7570
No．7	213821	8760±50	−25.8	8750±50	交点：cal BC 7770 1σ：cal BC 7930 ～ 7720 2σ：cal BC 7970 ～ 7610
No．8	213822	8460±50	−25.4	8450±50	交点：cal BC 7540 1σ：cal BC 7560 ～ 7500 2σ：cal BC 7580 ～ 7470
No．9	213823	8610±50	−25.8	8600±50	交点：cal BC 7600 1σ：cal BC 7610 ～ 7580 2σ：cal BC 7720 ～ 7560
No．10	213824	8520±50	−26.5	8500±50	交点：cal BC 7560 1σ：cal BC 7580 ～ 7540 2σ：cal BC 7600 ～ 7500
No．11	213825	8560±50	−26.8	8530±60	交点：cal BC 7580 1σ：cal BC 7590 ～ 7550 2σ：cal BC 7610 ～ 7510
No．12	213826	8460±50	−24.7	8460±50	交点：cal BC 7540 1σ：cal BC 7570 ～ 7510 2σ：cal BC 7580 ～ 7470
No．13	213827	8280±50	−27.6	8240±50	交点：cal BC 7300 1σ：cal BC 7340 ～ 7170 2σ：cal BC 7460 ～ 7080
No．14	213828	8820±50	−25.7	8810±50	交点：cal BC 7940 1σ：cal BC 8150 ～ 8140 BC 7970 ～ 7780 2σ：cal BC 8190 ～ 7730
No．15	213829	8750±50	−27.0	8720±50	交点：cal BC 7740 1σ：cal BC 7800 ～ 7620 2σ：cal BC 7950 ～ 7600

①^{14}C年代測定値

試料の^{14}C/^{12}C比から、単純に現在(AD1950年)から何年前かを計算した値。^{14}Cの半減期は、国際的慣例によりLibbyの5,568年を用いた。

②δ^{13}C測定値

試料の測定^{14}C/^{13}C比を補正するための炭素安定同位体比(^{13}C/^{12}C)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)で表す。

③補正^{14}C年代値

δ^{13}C測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、^{14}C/^{12}Cの測定値に補正値を加えた上で算出した年代。試料のδ^{13}C値を－25(‰)に標準化することによって得られる年代である。

④暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中^{14}C濃度の変動を較正することにより算出した年代(西暦)。calはcalibrationした年代値であることを示す。較正には、年代既知の樹木年輪の^{14}Cの詳細な測定値、およびサンゴのU-Th年代と^{14}C年代の比較により作成された較正曲線を使用した。

暦年代の交点とは、補正^{14}C年代値と較正曲線との交点の暦年代値を意味する。1σ(68％確率)と2σ(95％確率)は、補正^{14}C年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の1σ・2σ値が表記される場合もある。

文献

Stuiver et al. (1998), INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, Radiocarbon, 40, p.1041-1083.
中村俊夫(1999)放射性炭素法．考古学のための年代測定学入門．古今書院，p.1-36．

2．樹種同定

(1) はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質の特徴から樹種の同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が小さいことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

(2) 試料

試料は、第4地区の集石遺構、土坑から採取された炭化材15点である。これらは、放射性炭素年代測定に用いられたものと同一試料である。

(3) 方法

試料を割折して新鮮な横断面(木口と同義)、放射断面(柾目)、接線断面(板目)の基本三断面の切片を作製し、落射顕微鏡によって50～1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

(4) 結果

表1に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に、同定根拠となった特徴を記す。

コナラ属コナラ節　Quercus sect. Prinus　ブナ科

横断面：年輪のはじめに大型の道管が1～数列配列する環孔材である。晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属コナラ節に同定される。コナラ属コナラ節にはカシワ、コナラ、ナラガシワ、ミズナラがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、高さ15m、径60cmぐらいに達する。材は強靭で弾力に富み、建築材などに用いられる。

ブナ科　Fagaceae

横断面：部分的ではあるが大型の道管と火炎状に配列する小道管が見られた。放射断面：放射組織は平伏細胞からなる。接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型である。

以上の形質より、ブナ科のクリ、シイ属、コナラ属コナラ節のいずれかである。なお、試料が小片で保存状態が悪く、広範囲の観察が困難なことから、ブナ科の同定にとどめた。

センダン　Melia azedarach L. var. subtripinnata Miq.　センダン科

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、やや疎に配列する環孔材である。孔圏部外の道管は単独または2～3個複合して散在し、年輪界付近の小道管は群状に複合する。道管の径は徐々に減少する。放射断面：道管の

穿孔は単穿孔で、小道管および中型の道管の内壁にらせん肥厚が存在する。放射組織は平伏細胞である。接線断面：放射組織は同性放射組織型で、1～6細胞幅である。小道管および中型の道管の内壁にはらせん肥厚が存在する。

以上の形質よりセンダンに同定される。センダンは、四国、九州に分布する落葉の高木で、高さ30m、径1mに達する。材は強さ中庸で、建築、家具、器具などに用いられる。

広葉樹　broad-leaved tree

横断面：道管が存在する。放射断面：道管と放射組織が存在する。接線断面：道管と放射組織が存在する。以上の形質より広葉樹に同定される。なお、試料が小片で保存状態が悪く、広範囲の観察が困難なことから、広葉樹の同定にとどめた。

不明　unknown

木材の形質を呈していない。

（5）所見

第4地区の各遺構から採取された炭化材は、コナラ属コナラ節8点、ブナ科1点、センダン1点、広葉樹2点、不明3点と同定された。

最も多いコナラ属コナラ節は、日当たりの良い山野に生育する落葉高木であり、冷温帯落葉広葉樹林の構成要素であるミズナラやナラガシワ、および温帯に広く生育し二次林の性格を持つコナラなどがある。センダンは暖地の海岸沿い等に分布する落葉高木である。

文献

佐伯浩・原田浩(1985)針葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.20-48．

佐伯浩・原田浩(1985)広葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.49-100．

島地謙・伊東隆夫(1988)日本の遺跡出土木製品総覧，雄山閣，p.296

＊株式会社 古環境研究所の報告書を一部編集

表1　清武上猪ノ原遺跡(第4地区)における樹種同定結果

試料名	地区	遺構	結果（学名／和名）	
No.1	第4地区	SI－1	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.2	第4地区	SI－12	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.3	第4地区	SI－13	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.4	第4地区	SI－17	unknown	不明
No.5	第4地区	SI－18	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.6	第4地区	SI－23	broad-leaved tree	広葉樹
No.7	第4地区	SI－25	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.8	第4地区	SI－27	unknown	不明
No.9	第4地区	SI－28	unknown	不明
No.10	第4地区	SI－30	broad-leaved tree	広葉樹
No.11	第4地区	SI－31	Melia azedarach L. var. subtripinnata Miq.	センダン
No.12	第4地区	SI－34	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.13	第4地区	SI－37	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.14	第4地区	SC－3	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
No.15	第4地区	SC－4	Fagaceae	ブナ科

Ⅱ．清武上猪ノ原遺跡第4地区における放射性炭素年代測定（AMS測定）

（株）加速器分析研究所

1．化学処理工程

（1） メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。

（2） 酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。

（3） 試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO_2）を発生させる。

（4） 真空ラインで二酸化炭素を精製する。

（5） 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。

（6） グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

2．測定方法

加速器をベースとした^{14}C－AMS専用装置（NEC社製）を使用し、^{14}Cの計数、^{13}C濃度（^{13}C/^{12}C）、^{14}C濃度（^{14}C/^{12}C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

3．算出方法

（1） δ^{13}Cは、試料炭素の^{13}C濃度（^{13}C/^{12}C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。

（2） ^{14}C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中^{14}C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。^{14}C年代はδ^{13}Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。^{14}C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、^{14}C年代の誤差（±1σ）は、試料の^{14}C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2％であることを意味する。

（3） pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の^{14}C濃度の割合である。pMCが小さい（^{14}Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（^{14}Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値もδ^{13}Cによって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

（4） 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の^{14}C濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の^{14}C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差（1σ＝68.2％）あるいは2標準偏差（2σ＝95.4％）で表示される。グラフの縦軸が^{14}C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、δ^{13}C補正を行い、下一桁を丸めない^{14}C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース（Reimer et al. 2009）を用い、OxCalv4.1較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、^{14}C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」（または「cal BP」）という単位で表される。

4．測定結果

表1

試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ13C (‰) (AMS)	δ13C補正あり	
					Libby Age (yrBP)	pMC (%)
1	第4地区 集石遺構 SI－5	炭化材	AAA	－25.91±0.54	8,620±40	34.20±0.16
2	第4地区 集石遺構 SI－6	炭化材	AaA	－25.08±0.51	8,820±40	33.37±0.15
3	第4地区 集石遺構 SI－16	炭化材	AAA	－26.64±0.60	8,660±40	34.03±0.16
4	第4地区 集石遺構 SI－21	炭化材	AaA	－24.36±0.42	8,720±40	33.76±0.16
5	第4地区 集石遺構 SI－36	炭化材	AaA	－27.26±0.63	8,520±40	34.60±0.16
6	第4地区 縄文土器 2416 (P66 No.139)	土器付着炭化物	AaA	－22.92±0.51	8,880±40	33.12±0.16
7	第4地区 縄文土器 1031＋1034 (P90 No.528)	土器付着炭化物	AaA	－23.11±0.45	6,390±30	45.15±0.18

表2

試料名	δ13C補正なし Age(yrBP)	δ13C補正なし pMC(%)	暦年較正用(yrBP)	1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
1	8,630±40	34.13±0.15	8,619±36	7650calBC－7586calBC(68.2%)	7718calBC－7581calBC(95.4%)
2	8,820±30	33.37±0.14	8,815±35		8184calBC－8112calBC(12.5%)
				8160calBC－8151calBC(2.4%)	8092calBC－8074calBC(1.6%)
				7965calBC－7791calBC(65.8%)	8063calBC－8041calBC(2.1%)
					8003calBC－7746calBC(79.2%)
3	8,690±40	33.92±0.15	8,658±37	7705calBC－7698calBC(4.1%) 7681calBC－7598calBC(64.1%)	7743calBC－7592calBC(95.4%)
4	8,710±40	33.81±0.15	8,722±36	7787calBC－7767calBC(7.9%) 7761calBC－7647calBC(57.1%) 7623calBC－7614calBC(3.1%)	7937calBC－7926calBC(1.2%) 7917calBC－7899calBC(2.0%) 7869calBC－7855calBC(1.4%) 7848calBC－7603calBC(90.8%)
5	8,560±40	34.44±0.15	8,524±36	7586calBC－7550calBC(68.2%)	7595calBC－7529calBC(95.4%)
6	8,840±40	33.26±0.15	8,877±37	8202calBC－8107calBC(32.9%) 8094calBC－8038calBC(20.2%) 8010calBC－7965calBC(15.1%)	8227calBC－7938calBC(91.1%) 7924calBC－7919calBC(0.4%) 7896calBC－7844calBC(3.9%)
7	6,360±30	45.33±0.17	6,387±31	5464calBC－5447calBC(11.4%) 5417calBC－5411calBC(3.5%) 5379calBC－5320calBC(53.3%)	5469calBC－5400calBC(35.3%) 5391calBC－5314calBC(60.1%)

文献

Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of 14C data, Radiocarbon 19(3), 355-363

Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360

Reimer P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

＊（株）加速器分析所の報告書を一部編集

Ⅲ．清武上猪ノ原遺跡第４地区出土黒曜石製遺物の原産地推定

（明治大学文化財研究施設運営委員　杉原重夫　明治大学文化財研究施設　金成太郎　明治大学文学部RA
入江千晶・弦巻賢介　明治大学学術フロンティア推進事業RA　佐藤裕亮・金木利憲）

１．測定方法

蛍光X線法を用いて黒曜石の正確な元素分析値を得るには，内部が均質で表面形態が一様な試料を作成し，検量線法などによって定量的に分析を行うのが一般的である。そのためには，試料を粉砕してプレスしたブリケットを作成するか，もしくは溶融してガラスビードを作成する必要がある。しかしながら，遺跡から出土した遺物は，通常，非破壊での測定が要求されるため，上記の方法をとることは困難である。そのため，遺物に直接X線を照射する定性(半定量)分析が行われている。このような直接照射によって発生する蛍光X線の強度そのものは，試料の状態や装置の経年変化によって変動する可能性が高いが，特定元素の強度同士の比を採った場合はその影響は小さいと考えられている。今回は測定強度比をパラメータとして原産地推定を行った。

２．試料の前処理

比較用の産出地採取原石については，必要に応じて新鮮な破断面または研磨面を作製し，超音波洗浄器によるクリーニングを行った。遺跡出土石器は，多くの場合新鮮で平滑な剥離面があるため，試料表面をメラミンスポンジとアルコールで洗浄してから測定を行った。特に汚れがひどい遺物のみ超音波洗浄器を用いた。

３．装置・測定条件

蛍光X線の測定にはエネルギー分散型蛍光X線分析装置JSX-3100s（日本電子株式会社)を用いた。X線管球は，ターゲットがRh（ロジウム)のエンドウインドウ型を使用した。管電圧は30kV，電流は抵抗が一定となるよう自動設定とした。X線検出器はSi(ケイ素)/Li(リチウム)半導体検出器を使用した。試料室内の状態は真空雰囲気下とし，X線照射面径は15mmとした。測定時間は，240secである。測定元素は，主成分元素はケイ素(Si)，チタン(Ti)，アルミニウム(Al)，鉄(Fe)，マンガン(Mn)，マグネシウム(Mg)，カルシウム(Ca)，ナトリウム(Na)，カリウム(K)の計9元素，微量元素はルビジウム(Rb)，ストロンチウム(Sr)，イットリウム(Y)，ジルコニウム(Zr)の計4元素の合計13元素とした。また，X線データ解析ソフトには，明治大学文化財研究施設製；JsxExtを使用した。

４．原産地推定の方法

黒曜石はケイ酸，アルミナ等を主成分とするガラス質火山岩であるが，その構成成分は産出地による差異が認められる。とりわけ微量元素のRb，Sr，Y，Zrでは産出地ごとの組成差がより顕著となっている。望月は，この産地間の組成差から黒曜石の産地推定が可能であると考え，上記の4元素にK，Fe，Mnの3元素を加えた計7元素の強度比を組み合わせることで産地分析を行っている(望月ほか　1994，望月　1997)。これら7元素による原産地分析の有効性は，ガラスビードを用いた定量分析によっても裏付けられている(嶋野ほか　2004)。ここでも，上記の判別方法に準拠することとし，原産地推定のパラメータにRb　分率[Rb強度×100/（A＝Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度)]，Sr分率(Sr強度×100/A)，Mn強度×100/Fe強度，log（Fe強度/K強度)を用いて判別図を作製し，判別分析はZr分率(Zr強度×100/A)を加えて行った。

５．黒曜石原産地の判別

５－１．判別図

判別図は，視覚的に分類基準が捉えられる点，および判定基準が分かりやすいというメリットがある。また，測定結果の提示に際し，読者に理解しやすいという点も有効であろう。まず，各産出地採取試料(基準試料)の測定データを基に2種類の散布図[Rb分率vs Mn×100/Feとsr分率vs log（Fe/K)]を作製し，各原産地を推定するための判別域を決定した。次に遺物の測定結果を重ね合わせて大まかな判別を行った。基準試料の測定強度比の平均値を表25に示す。

５－２．判別分析

判別図や測定値の比較による原産地の推定は，測定者ごとの恣意的な判断を完全に排除することは難しい。そこで，多変量解析の一つである判別分析を行った。判別分析では，判別図作製に用いたパラメータを基にマハラノビス距離を割り出し，各原産地に帰属する確率を求めた。距離と確率とは反比例の関係にあり，資料と各原産

地の重点間の距離が最も短い原産地が第一の候補となる。なお，分析用ソフトには明治大学文化財研究施設製；MDR1.02を使用した。また，判別結果の参考資料として，各原産地(重点)間のマハラノビス距離を提示した(表26)。

6．黒曜石原産地の名称と地理的な位置づけ

今回の黒曜石の原産地推定にあたっては，日本の黒曜石産出地データベース(杉原・小林　2004・2006)を使用し，この中から，既存の文献・資料を参考にして現地調査を行い，石器石材に利用可能と思われる黒曜石の産出地を選択した。ただし，ここでは黒曜石の原産地候補を隠岐・九州地方に限定して考察している。

黒曜石原産地(obsidian source)の判別にあたっては，各産出地を火山体，島嶼，河川流域，岩石区等の地形・地質的条件によって枠組みを行い，これを「地区;area」と名づけ，現在，黒曜石を産出する地点(露頭・散布地など)を「産出地区域(単に産出地とする)；district」とした。今回の原産地推定に使用した「系；series」は，「地区」内の「産出地」のうち，蛍光X線分析の結果に地形・地質情報を参考にして判別された地理的に隣接する「産出地」群で，岩石化学的原産地を指す。

表1　隠岐・九州地方の黒曜石原産地の区分

地区(area)	系(series)	産出地(district)
隠岐地区	隠岐系	久見，島越トンネル，代港，男池，愛宕山，箕浦
壱岐地区	壱岐系	印通寺浦，平人触
姫島地区	姫島系	観音崎，北浦
北松浦地区	星鹿半島系	牟田免，大崎免
腰岳地区	腰岳系	腰岳
佐世保地区	針尾島系	針尾中町(針尾送信所)，古里海岸
	牛ノ岳系	牛ノ岳
	淀姫系	淀姫神社
西彼杵地区	亀浦系	上岳郷野潮
	上土井行系	上土井行
大崎半島地区	大崎半島系	大崎半島
嬉野地区	嬉野系	椎葉川
西小国地区	西小国系	山甲川，貫見(高倉山)，上滴水川
阿蘇地区	阿蘇山系	象ヶ鼻，長谷峠，杖木原，東上野，滝室坂，高野尾羽根溶岩，的石原野，鞍岡，竹田市
球磨村地区	白浜系	宮の尾橋，白浜林道，那良川
大口地区	日東系	日東，猟々，小川内，荒平，五女木
	桑木津留系	桑木津留，上青木，間根ヶ平林道，大塚林道
串木野東地区	上牛鼻系	上牛鼻，平木場
三船地区	三船系	老人ホーム裏，三船海岸
垂水地区	小浜系	小浜
大根占地区	長谷系	長谷

注)　「地区」内には，黒曜石の産出する地域が1つの「系」しか存在しない場合もある。また1つの「系」内に複数の種類の黒曜石が産出することがある。その場合，岩石学的・地域的に細分が出来る場合は「グループ：Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ…」とする。なお同一「系」内の地域において岩石学的に有意に元素比が異なる原石が混在して産出する場合は，「A，B，C…」の様に表示する。

表2　隠岐・九州地方の黒曜石測定値(強度比)

		Rb分率	Sr分率	Zr分率	Mn×100/Fe	Fe/K
隠岐系	平 均 値:	29.4806	0.6182	57.0782	2.3818	1.9611
	標準偏差:	2.5386	0.5746	3.7974	0.1645	0.0935
壱岐系	平 均 値:	31.7867	0.8887	51.4159	3.3723	2.1170
	標準偏差:	0.4265	0.4629	0.6625	0.0594	0.0244
姫島系	平 均 値:	36.5517	29.0212	19.7066	7.5682	1.6161
	標準偏差:	1.2946	1.0457	1.7373	0.1933	0.0496
腰岳系	平 均 値:	48.4246	12.3520	21.6284	3.7998	1.2245
	標準偏差:	0.8189	0.7409	0.9557	0.0853	0.0213
針尾島系A	平 均 値:	38.8840	16.3601	31.1587	3.7705	1.3185
	標準偏差:	1.1059	0.8466	0.9777	0.0815	0.0485
針尾島系B	平 均 値:	33.3123	20.5863	33.9723	3.2509	1.6330
	標準偏差:	0.7485	0.9655	0.6700	0.2139	0.0728
牛ノ岳・淀姫系	平 均 値:	28.8958	23.4819	37.1384	2.9053	1.8772
	標準偏差:	0.5270	0.5082	0.8176	0.0501	0.0214
亀浦系	平 均 値:	15.3631	51.0103	28.9259	2.6775	3.8942
	標準偏差:	0.5372	0.7626	0.5123	0.1186	0.0191
上土井行系	平 均 値:	18.8986	47.5540	25.6560	5.9808	2.7862
	標準偏差:	0.6331	0.6573	0.8127	0.1216	0.0703
大崎半島系	平 均 値:	43.8671	8.2248	30.9360	2.8374	1.2065
	標準偏差:	0.9882	0.9018	1.0182	0.0686	0.0161
嬉野系	平 均 値:	29.4314	39.0293	22.6688	4.4392	1.4446
	標準偏差:	0.6209	0.5170	0.7605	0.0775	0.0193

		Rb分率	Sr分率	Zr分率	Mn×100/Fe	Fe/K
西小国系	平 均 値:	28.3087	26.5276	32.8354	5.4831	1.3684
	標準偏差:	1.0076	1.0047	1.0345	0.1555	0.0487
阿蘇系Ⅰ (象ヶ鼻/杖原/鞍岡)	平 均 値:	16.5471	35.4214	41.1696	1.9983	5.0848
	標準偏差:	0.8130	1.8864	1.0228	0.0796	0.2144
阿蘇系Ⅱ (長谷峠/荒平/東上野)	平 均 値:	12.9884	47.7579	34.2398	1.9233	8.2803
	標準偏差:	0.4733	1.4341	0.8968	0.1217	0.8216
白浜系	平 均 値:	42.8787	13.0906	28.9784	2.3498	1.0446
	標準偏差:	1.1575	0.9309	1.1334	0.0941	0.0283
日東系	平 均 値:	35.1027	18.0349	34.5556	2.2469	1.1850
	標準偏差:	0.7367	1.0058	0.6659	0.0910	0.0223
桑木津留系	平 均 値:	40.7271	14.9685	27.1598	5.7945	1.0424
	標準偏差:	0.6607	0.5700	0.9337	0.1278	0.0261
上牛鼻系	平 均 値:	10.7258	45.6746	38.2959	1.7847	7.4301
	標準偏差:	0.5710	1.4825	1.0629	0.0401	0.6765
三船系	平 均 値:	28.4011	27.9305	32.7773	5.2379	1.6869
	標準偏差:	1.0628	1.2156	1.2550	0.1345	0.0466
小浜系	平 均 値:	38.9766	19.4122	27.6746	3.8329	1.3234
	標準偏差:	1.1670	1.0034	1.4263	0.0880	0.0528
長谷系	平 均 値:	30.9399	22.8716	33.2637	4.4961	1.9419
	標準偏差:	0.9956	0.9507	0.9164	0.1032	0.0500

表3　判別分析における群間距離(マハラノビス距離)

	鵜岳系	卷岳系	鰐島系	醒宮系	新電温系A	新電温系B	牛/小御岳	亀浦系	上土井江系	大崎半島系	腰野系	西小御岳	阿蘇系1	阿蘇系2	白浜系	日東系	桑木津留系	上牛島系	三船系	小浜系	長谷系
鵜岳系	0	567	1788	2487	2518	1469	2192	50048	25023	2222	6518	1512	903	2156	1273	2471	2428	1914	992	2245	1334
卷岳系	567	0	1315	2221	1932	1031	2292	39420	19705	2714	6274	1250	946	2176	1762	3101	2023	4170	678	1115	895
鰐島系	1788	1315	0	3495	8927	977	9358	45163	2827	6767	3993	585	23406	16335	5388	5874	1717	46189	462	4938	1100
醒宮系	2487	2221	3495	0	235	644	3702	94528	33516	333	4695	795	15531	14867	511	940	369	14643	814	102	1108
新電温系A	2518	1932	8927	235	0	85	1751	80653	23424	377	2655	371	7227	6701	534	520	301	9011	461	26	607
新電温系B	1469	1031	977	644	85	0	292	53652	18924	996	1492	315	3834	3719	657	745	752	5259	319	199	384
牛/小御岳	2192	2292	9358	3702	1751	292	0	39076	15853	1840	1396	319	1907	1952	826	1099	1326	3030	330	499	371
亀浦系	50048	39420	45163	94528	80653	53652	39076	0	2606	12434	10138	1467	1085	577	4364	5956	7633	2321	1536	2208	1520
上土井江系	25023	19705	2827	33516	23424	18924	15853	2606	0	10367	7424	1106	8108	5185	6029	7257	6075	23282	826	2946	1179
大崎半島系	2222	2714	6768	333	377	996	1840	12434	10367	0	6164	952	7415	8876	142	276	782	7688	1087	525	1385
腰野系	6518	6274	3993	4695	2655	1492	1396	10138	7424	6164	0	463	8392	5895	1814	1575	2154	13581	269	731	813
西小御岳	1512	1250	585	795	371	315	319	1467	1106	952	463	0	6182	4280	2081	2060	852	17721	72	1239	238
阿蘇系1	903	946	23406	15531	7227	3834	1907	1085	8108	7415	8392	6182	0	171	4389	8125	6493	147	1881	3217	1842
阿蘇系2	2156	2176	16335	14867	6701	3719	1952	577	5185	8876	5895	4280	171	0	8124	14030	11461	114	3932	4891	3810
白浜系	1273	1762	5388	511	534	657	826	4364	6029	142	1814	2081	4389	8124	0	191	1069	7369	1548	749	2282
日東系	2471	3101	5874	940	520	746	1099	5956	7257	276	1575	2060	8125	14030	191	0	1151	4176	1185	809	1778
桑木津留系	2428	2023	1717	369	301	752	1326	7633	6075	782	2154	852	6493	11461	1069	1151	0	24556	539	1513	774
上牛島系	1914	4170	46189	14643	9011	5259	3030	2321	23282	7688	13581	17721	147	114	7369	4176	24556	0	3433	4686	3433
三船系	992	678	462	814	461	319	330	1536	826	1087	269	72	1881	3932	1548	1185	539	3433	0	783	91
小浜系	2245	1115	4938	102	26	199	499	2208	2946	525	731	1239	3217	4891	749	809	1513	4686	783	0	639
長谷系	1334	895	1100	1108	607	384	371	1520	1179	1385	813	238	1842	3810	2282	1778	774	3433	91	639	0

表4　清武上猪ノ原遺跡第4地区出土黒曜石製遺物の原産地推定結果

掲載番号	試料№	Rb分率	Sr分率	Zr分率	Mn×100/Fe	Log(Fe/K)	候補1	確率	距離	候補2	確率	距離
Ⅲ章－598	KIH1-053	41.4042	15.9235	25.5119	5.7233	0.0329	桑木津留系	1.0000	6.3674	西小国系	0.00	197.77
Ⅲ章－679	KIH1-054	47.9862	12.5898	20.9572	3.8198	0.0923	腰岳系	1.0000	2.1661	針尾島系A	0.00	265.63
Ⅲ章－637	KIH1-055	36.0189	23.1156	28.3899	4.2246	0.07	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅲ章－603	KIH1-056	48.3185	12.6373	21.3694	3.8066	0.1058	腰岳系	1.0000	7.1985	針尾島系A	0.00	275.74
Ⅲ章－15	KIH1-057	40.8610	14.7326	27.0812	5.7949	0.0466	桑木津留系	1.0000	10.7678	西小国系	0.00	184.57
Ⅲ章－631	KIH1-058	40.5322	14.6251	27.1796	5.6784	0.022	桑木津留系	1.0000	2.1695	西小国系	0.00	204
Ⅲ章－575	KIH1-059	34.3947	18.1988	35.0428	2.4228	0.0928	日東系	1.0000	18.796	針尾島系B	0.00	65.12
Ⅲ章－573	KIH1-060	38.3064	16.7252	28.3288	5.7254	0.0421	判別不可	－	－	－	－	－
Ⅲ章－14	KIH1-061	39.5752	15.6148	27.6375	5.8580	0.0392	桑木津留系	1.0000	10.5146	西小国系	0.00	156.31
Ⅲ章－626	KIH1-118	41.3305	14.4223	26.2129	5.8297	0.0293	桑木津留系	1.0000	6.1628	西小国系	0.00	206.61
Ⅲ章－689	KIH1-119	33.4145	20.5805	34.0783	3.2164	0.2528	針尾島系B	1.0000	5.2746	針尾島系A	0.00	74.13
Ⅲ章－648	KIH1-120	32.5772	20.5843	35.1815	3.3359	0.2412	針尾島系B	1.0000	5.097	針尾島系A	0.00	60.36
Ⅲ章－602	KIH1-121	48.7254	11.5891	21.4675	3.8772	0.0886	腰岳系	1.0000	4.2373	針尾島系A	0.00	280.65
Ⅲ章－562	KIH1-122	41.8253	14.1775	25.9201	5.8312	0.0343	桑木津留系	1.0000	11.706	西小国系	0.00	215.42
Ⅲ章－638	KIH1-123	38.0769	16.8206	32.4994	3.8590	0.0198	判別不可	－	－	－	－	－
Ⅲ章－601	KIH1-124	47.9073	12.2018	22.8591	3.7122	-0.0537	判別不可	－	－	－	－	－
Ⅲ章－640	KIH1-125	39.6521	16.1124	31.0005	3.8860	0.1206	針尾島系A	1.0000	7.5826	針尾島系B	0.00	107.13
Ⅲ章－634	KIH1-126	37.7446	28.1934	19.3966	8.0628	0.2513	判別不可	－	－	－	－	－
Ⅲ章－680	KIH1-127	48.7838	13.0508	21.5993	3.9883	0.1043	腰岳系	1.0000	19.8746	針尾島系A	0.00	256.73
Ⅱ章－88	KIH1-188	39.8071	21.9088	22.9703	4.8604	0.0265	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－98	KIH1-189	38.8824	22.7350	23.7455	5.1300	0.0885	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－94	KIH1-190	40.1287	21.6503	23.9783	4.9678	0.0347	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－100	KIH1-191	39.7136	22.4378	24.1018	4.7963	0.0852	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－84	KIH1-192	40.1574	21.2282	24.8793	4.8778	0.0527	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－99	KIH1-193	39.3433	22.1568	25.3498	4.7438	0.0134	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－85	KIH1-194	38.9497	20.9311	25.4371	5.0087	0.0471	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－96	KIH1-195	39.0562	22.0602	24.6306	5.1016	0.0312	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－95	KIH1-196	38.7572	22.5547	24.4624	5.1391	0.0831	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－93	KIH1-197	40.7191	21.5906	22.7951	4.9935	0.0124	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－91	KIH1-198	39.2149	22.1690	23.7996	5.0127	0.0162	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－89	KIH1-199	39.4449	22.8149	24.2102	5.0745	0.0262	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－80	KIH1-200	40.9214	15.9952	26.8217	6.0227	0.0269	桑木津留系	1.0000	13.9428	西小国系	0.00	170.53
Ⅱ章－92	KIH1-201	40.4705	21.7306	23.3858	5.2134	0.0486	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－101	KIH1-202	39.4789	22.2813	24.4104	4.8979	0.0226	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－82	KIH1-203	41.6822	15.4617	25.2528	5.8568	0.0399	桑木津留系	1.0000	13.079	西小国系	0.00	197.55
Ⅱ章－90	KIH1-204	40.0999	21.2166	24.8494	5.2159	0.0443	不明原産地1	－	－	－	－	－
Ⅱ章－97	KIH1-205	40.4027	22.8146	23.3680	5.1531	0.0289	不明原産地1	－	－	－	－	－

※本分析は「宮崎県宮崎市清武町清武上猪ノ原遺跡出土黒曜石製遺物の原産地推定」(明治大学文化財研究施設)の一部を抜粋したものであり、上記の分析については清武上猪ノ原遺跡第5地区の報告書に掲載する予定である。

調 査 抄 録

フリガナ	ｷﾖﾀｹｶﾐｲﾉﾊﾙ
書名	清武上猪ノ原遺跡第４地区
副書名	県営農地保全整備事業船引工区にかかる埋蔵文化財調査報告書
巻次	第１集
シリーズ名	宮崎市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第88集
編集者名	井田篤・秋成雅博
発行機関	宮崎市教育委員会
所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目14番地20号　　TEL(0985)25-2111
発行年月日	2012年3月

所在遺跡名	所在地	市町村：遺跡番号	北緯	東経	調査期間
清武上猪ノ原遺跡第4地区	宮崎市清武町船引字上猪ノ原	宮崎市：52－005	31° 51′ 57″（日本測地形）	131° 22′ 21″（日本測地形）	2003.9.22 ～ 2004.7.23

調査面積	調査原因	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
1300㎡	農業関連	集落	旧石器	礫群	石器
			縄文（草創期・早期）	集石遺構・炉穴 土坑・陥し穴 土器埋設遺構	縄文土器 石器
			古代	掘立柱建物跡	土師器

特記事項
縄文時代早期の完形の環状石斧の出土例。縄文時代早期の土器埋設遺構出土土器の検出。 細石刃核の接合資料の出土例。

宮崎市埋蔵文化財調査報告書第88集

清武上猪ノ原遺跡 － 4 －

県営農地保全整備事業船引工区にかかる埋蔵文化財調査報告書

発行年月日　平成24年３月30日
編 集 発 行　宮崎市教育委員会

印　　刷　株式会社　宮崎南印刷
〒880-0911　宮崎県宮崎市大字田吉350-1
TEL 0985-51-2745　FAX 0985-52-2682